

平成30年度

# 幼保小連携ブロック活動 報告

足立区教育委員会

## 目 次

はじめに	1
I 担当校・担当園及び担当者会議	2
1 担当者会議開催日	
2 担当校・担当園	
II 幼保小交流活動状況	3
1 交流活動の取組み状況	
2 平成30年度活動における課題等と今後の取組み	

### 各ブロック幼保小連携活動報告

① 第1ブロック	6
② 第2ブロック	10
③ 第3ブロック	13
④ 第4ブロック	17
⑤ 第5ブロック	21
⑥ 第6ブロック	24
⑦ 第7ブロック	28
⑧ 第8ブロック	32
⑨ 第9ブロック	36
⑩ 第10ブロック	40
⑪ 第11ブロック	44
⑫ 第12ブロック	48
⑬ 第13ブロック	53

### 《 資料 》

○ブロック別一覧（小学校、幼稚園、保育園等）

## はじめに

足立区では、子どもたちの発達と学びを幼児教育から小学校教育へつなげていくため、平成18年度に幼保小連携活動に取り組み始めて以来、昨年度末で13年が経過しました。区内を13の地域に分け、地域ごとに就学前施設（私立幼稚園、認定子ども園、公私立保育所、5歳児が在籍する認証保育所）と小学校の関係者が集い、創意工夫を重ねながら交流活動が続いています。活動は年を追うごとに深化し、子どもの交流と共に職員の交流も充実してきました。

平成30年12月には、教育委員会においてこれまでの「5歳児プログラム」と「小学校スタートカリキュラム」を見直し、一体化した「あだち幼保小接続期カリキュラム」を策定しました。

5歳児の移行期と小学校入学後の児童に焦点を当てて、保育者・教師が互いの教育・保育の内容や、子どもたちの発達と学びを理解し合い、双方の指導に活かしていただける内容になっています。

公開授業・公開保育等の実施時の見取りや、校内・園内研修等にも積極的に活用ください。

今後も、就学前施設が増加する中、新規施設の幼保小連携活動への参加を促し、全ての子どもたちが不安なく円滑に小学校に移行できるよう、学びの連続性を意識した実践を進めていかなければなりません。

平成30年度の主な交流活動を「本年度の活動」「具体的実践例」としてブロックごとに掲載しました。今後の交流活動に是非ご活用ください。

令和元年6月

足立区教育委員会

教育指導部 就学前教育推進課

I 担当校・担当園および担当者会議

**I 担当校・担当園および担当者会議**

1 担当者会議開催日

	1回目	2回目
日時	平成30年4月27日(金)	平成31年1月25日(金)
	10:00~12:00	10:00~12:00
会場	げんき 研修室3	げんき 研修室3

2 担当校・担当園

ブロック	学校名	校長名	園名	園長名
1	千寿双葉小学校	小幡 育代	千住あずま保育園	久保井 佐智恵
2	扇小学校	加納 和彦	上沼田保育園	向井 正恵
3	西新井第一小学校	網田 俊二	本木保育園	後藤 登美子
4	亀田小学校	星崎 誠	梅田保育園	清水やす子
5	弘道小学校	関根 正弘	中央本町保育園	深山 敏子
6	東綾瀬小学校	角田 成隆	東綾瀬保育園	水久保 結花里
7	中川東小学校	豊田 純子	六木保育園	荒井 佳代
8	平野小学校	葛谷 裕治	平野保育園	小林 由美
9	桜花小学校	芳賀 幸広	花畑桑袋保育園	渡邊 敦子
10	渚江小学校	矢田 泰久	西保木間保育園	日比谷 芳子
11	東伊興小学校	山下 宗孝	伊興保育園	土田 道子
12	鹿浜五色桜小学校	高山 直也	第三上沼田保育園	宮崎 良江
13	舎人小学校	富岡 尚生	いりや第二保育園	大西 克枝

私立幼稚園代表	ふちえ幼稚園	古庄 宏吉
私立保育園代表	やよい保育園	川下 勝利

(敬称略)

## Ⅱ 幼保小交流活動状況

### 1 交流活動の取り組み

#### (1) 実施校・園数（教員・保育士の交流研修、園児と児童の交流）

	全校・園数	交流活動実施校・園数	参加率
私立幼稚園・認定こども園	51	41	80%
私立保育園	79	69	87%
区立保育園	28	28	100%
区立認定こども園	3	3	100%
公設民営保育園	14	13	93%
認可外公設民営保育園	2	2	100%
認証保育所	14	8	57%
小学校	69	69	100%

#### (2) 主な活動内容

##### ア 子どもの交流（園から学校へ）

学校体験	園数（延べ）
体験給食 ※1 ※2	139
体験授業	110
読書体験	9
学校行事への参加	園数（延べ）
運動会	20
音楽会	24
学芸会	24
展覧会	34
その他	29

※1 体験給食を実施した園の内訳と参加園児数

実施園	実施園数	参加園児数 (延べ)
区立保育園・区立認定こども園	31	3,424
私立幼稚園	27	
私立保育園	73	
認証保育所	8	

※2 体験給食を実施した学校数：64校（延べ実施回数139回）

## II 幼保小交流活動状況

### イ 職員交流

園から学校への交流	園数 (延べ)
交流研修	87
学校公開	81
その他	91
学校から園への交流	園数 (延べ)
交流研修	94
公開保育	58
その他	75

具体的な交流活動と評価につきましては、各ブロック幼保小連携活動報告をご覧ください。

## 2 平成30年度活動における課題等と今後の取り組み

平成30年度の各ブロック幼保小連携活動報告に記載された主な課題等と今後の取り組みは以下の通りです。

### (1) 運営上の課題等と今後の取り組み

	課題	取り組み
ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の園と学校が連携しているグループでは、交流活動の日程調整が難しくなったり、学校の負担が大きくなったりすることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の園が学校と交流しているグループについては、交流活動を同じ日に設定したり、給食交流は1年生以外の学年と行ったりするなどの工夫を取り入れ、これまでの計画を見直す。</li> </ul>
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>園で行う教員の一日研修について、長期休業中に設定することが難しい事情もあった。特に、冬休みは閉校日等があり調整が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休暇中のみならず、調整期間を幅広く考え調整していく。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の授業研究会などにも、幼稚園や保育園の積極的に参加できる体制づくりが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達段階と発達課題を教員と保育者が相互に理解し、適切な活動を継続的に行って意欲や自己肯定感を育むようにする。</li> </ul>
エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>他園同士のつながりも持っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士、お互いに気軽に子どもたちの様子を見る機会を増やす。</li> </ul>
オ	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザの流行により給食体験が中止となった園もあった。流行時期を避ける、早めに日程を決める、代替日を決めるといった対応を取ることで、体験の機会を確保する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前の体験給食は、感染症等で実施できなかった場合のために予備日を設けるようにする。そのために各交流学校と交流園で早めに日程の調整を行い、体験の確保に努める。</li> </ul>

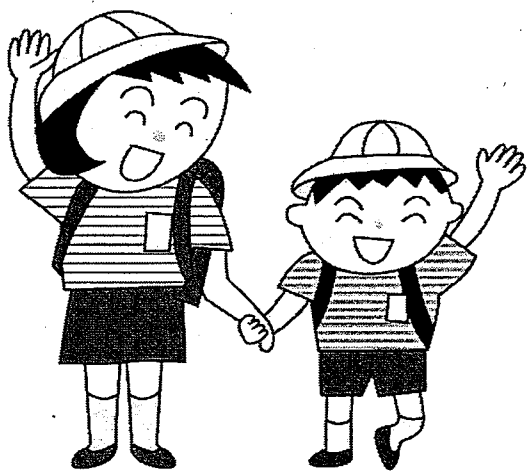
(2) 内容の課題等と今後の取り組み

	課 題	取 り 組 み
ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度最高学年になる5年生との交流の増加や1年生が5歳児に教える「ミニ授業」の実施など、子どもの交流について様々な可能性を探っていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの交流について、既存の取り組みにとらわれることなく、様々な交流の可能性を探っていく。</li> </ul>
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等の参観は盛んに行われるようになったが、日頃の指導についての情報交換の話し合いの時間が定期的にとれるようになるとうい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な交流・活動を実施する中で職員間が顔見知りとなり、連携を図りやすい環境を構築していく。</li> </ul>
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児にとっての小学校入学への不安やストレスを軽減するための具体的な手立てをさらに考えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の散歩で小学校に寄って校庭遊びをしたり、音楽や図工の授業を体験したりして普段の延長線上で交流できるとよい。可能性を模索したい。</li> </ul>
エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や保育園で行っている活動が、小学校ではどの活動に当たるのか、幼稚園や保育園で学んできたことを生かす授業や、小学校へ向けての活動を実施できないか検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの保育者・教員が、園や小学校の公開保育・授業、行事等に、より積極的に参加し、お互いの理解を深めるとともに指導の共通化を図る。</li> </ul>
オ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの幼稚園や保育園での生活経験の違いについて、小学校でその差をどのように縮めていくことができるのか、明確にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と園とでは当然のことながら、カリキュラムの違いがある。その違いを正しく理解し、特に「幼稚園教育要領等」と「小学校学習指導要領」の求めているねらいに沿って、連携を深めていく。</li> </ul>





各ブロック  
幼保小連携活動報告



平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第1ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【千寿双葉小学校】  
担当園【千住あずま保育園】

1ブロック		千寿小学校	千寿本町小学校	千寿双葉小学校	
連携園		ステラ千住保育園 足立幼稚園 緑町保育園 クレーナーサリー千住大橋保育園 ういず千住大橋駅前保育園 まなびの森保育園千住大橋 あい保育園千住大橋保育園	中条幼稚園 Jキッズルミネ北千住保育園	千住寿幼稚園 北千住もみじの森保育園 元宿こども園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 6月7日(木) 15:30 ~ 【会 場】 足立区立千寿双葉小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月26日(火) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立千寿双葉小学校			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(緑町・足立)			
	職員交流研修 (学校から園へ)	・8月、12月(緑町) ・2月(足立)		・3月(千住寿)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(クレーナーサリー千住大橋 まなびの森保育園千住大橋 緑町)		・6月(元宿)
		後期	・10月(緑町)		
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(緑町) ・8月(ステラ千住)	・8月(Jキッズルミネ)	・8月(北千住もみじの森・元宿)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(足立・緑町) ・運動会 (足立*事務長参加・ステラ千住 緑町) ・卒業式(緑町) 【職員参加】 ・運動会(ステラ千住・おおやた・ 緑町・ういず千住大橋駅前) ・学童まつり(ういず千住大橋駅前)	【園長参加】 ・入学式(Jキッズルミネ北千住) ・運動会(Jキッズルミネ北千住)	【園長参加】 ・入学式(千住寿・元宿) ・運動会(千住寿・元宿) ・定期演奏会 (千住寿*副園長参加) ・卒業式 (千住寿*副園長参加・元宿) 【職員参加】 ・運動会(千住寿・おおやた)	
その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会、発表会、卒園式(緑町)		【校長参加】 ・入園式、運動会、発表会、 卒園式(元宿)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月(ういず千住大橋駅前・緑町 クレーナーサリー千住大橋・足立・ まなびの森保育園千住大橋・ あい保育園千住大橋・ステラ千住)  ※交流学年 1年生		・11月(元宿)  ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・1月昔あそび体験 (クレーナーサリー千住大橋 あい保育園千住大橋・足立)	・交流会 (中条・Jキッズルミネ北千住)	・11月体験授業(元宿) ・1月1年生との交流会 (北千住もみじの森)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・音楽会 (クレーナーサリー千住大橋 緑町)			

幼保小連携活動報告 第1ブロック

1ブロック		千寿常東小学校	千寿桜小学校	千寿第八小学校
連携園		ういず千住曙町保育園 第二日ノ出町保育園 ぼけっとランド千住曙町保育園 日ノ出町保育園	北千住こども園 千住保育園 たんぼぼ保育所北千住園 元宿こども園 千住寿幼稚園	千住あずま保育園 せきや保育園 キッズガーデン足立柳原保育園 日ノ出町保育園 ういず千住曙町保育園
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(日ノ出町) ・6月(ういず千住曙町・第二日ノ出町)	・5月(千住・元宿)	・5月(千住あずま) ・6月(日ノ出町)
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月(第二日ノ出町・日ノ出町) ・2月(第二日ノ出町)	・12月(千住・元宿)	・12月(千住あずま)
	学校公開 (園から学校へ)	前期 ・6月(ういず千住曙町・日ノ出町 ぼけっとランド千住曙町・第二日ノ出町)	・6月(千住・元宿)	・6月(ういず千住曙町・日ノ出町 千住あずま)
		後期 ・10月(ういず千寿曙町・日ノ出町 第二日ノ出町)	・12月(千住)	・10月 (千住あずま・ういず千住曙町)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(第二日ノ出町・ぼけっとランド 千住曙町・日ノ出町)	・7月(千住) ・8月(千住・元宿)	・7月 (千住あずま・せきや・日ノ出町) ・8月(千住あずま・せきや)
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(日ノ出町) ・運動会、音楽会、卒業式 (第二日ノ出町・日ノ出町)  【職員参加】 ・入学式(第二日ノ出町) ・運動会(おおよた)	【園長参加】 ・入学式(千住・元宿・千住寿*副 園長参加) ・運動会 (千住・元宿・千住寿*副園長参加) ・学芸会 (千住・千住寿*副園長参加) ・卒業式(千住*主任参加・元宿・ 千住寿) ・音楽会(千住寿*副園長参加)  【職員参加】 ・入学式(千住) ・運動会(千住・おおよた)	【園長参加】 ・入学式(千住あずま・せきや・ 日ノ出町*主任参加) ・運動会 (千住あずま・せきや・日ノ出町) ・音楽会 (千住あずま・せきや・日ノ出町) ・周年行事 (千住あずま・せきや・日ノ出町) ・卒業式(日ノ出町*副主任参加 千住あずま) 【職員参加】 ・運動会(せきや)
その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会(ういず千寿曙町・第二日 ノ出町・日ノ出町)*副校長参加 ・保護者会 (第二日ノ出町・日ノ出町) ・卒園式 (第二日ノ出町・日ノ出町)	【校長参加】 ・入園式(元宿こども園) ・運動会(千住) ・卒園式(千住)	【校長参加】 ・保護者会(日ノ出町) ・運動会(せきや*副校長参加・ 日ノ出町) ・卒園式(せきや・日ノ出町*副校 長参加)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・10月(ういず千寿曙町保育園 ・第二日ノ出町保育園・日ノ出町 ぼけっとランド千住曙町)  ※交流学年 5年生		・2月 (千住あずま・せきや・日ノ出町)  ※交流学年 1年生
	小学校での 体験授業	・1月 学校体験・昔あそび (日ノ出町・第二日ノ出町・ ぼけっとランド千住曙町・ ういず千寿曙町)	・図工・国語(千住)	・2月(千住あずま・キッズガーデ ンせきや・日ノ出町)
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・11月 音楽会リハーサル (ういず千住曙町・第二日ノ出町・ ぼけっとランド千住曙町) ・5月 運動会練習(第二日ノ出町)	・11月学芸会 (千住・元宿)	・11月 音楽会リハーサル (千住あずま・せきや)

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

#### ア 授業体験

- 園児と1年生の数名がグループになり、生活科（昔遊び体験）や図工（折り紙）の授業を行った。園児は1年生に教えてもらいながら活動していた。

#### イ 体験給食

- 園児と1年生の数名がグループになり、一緒に給食を食べるだけでなく配膳や後片付けも体験した。ほとんどの園児が決められた時間内に完食できた。

#### ウ 学校探検

- 園児が1年生とペアを組み、園児にはランドセルを背負わせ、校内の各教室等を見学した。その際、1年生が園児に一つ一つの教室等について説明しながら案内した。

#### エ 交流活動を通して

- 1年生にとって、年下の子に優しく言葉をかけたり、接したりしたことで思いやりの気持ちが育った。また、園児にとっては小学校での生活を一部ではあるが具体的に体験することができ、就学への期待が高まった。



【学校探検】

園児にランドセルを背負ってもらい、校内を1年生とペアで見学

### (2) 職員の交流

#### ア 交流研修

- 保育園では日頃から園児によい姿勢を習慣づける「グー・ペタ・ピン」を意識させたり、話す人の方を向いて静かに話を聞かせたりしていた。小学校入学後の学習規律を意識して指導している。
- 園児は折り紙やお絵かき等の活動にしっかりと取り組んでいた。中には途中であきらめそうになった園児もいたが、担任がそばに寄り添い、一緒に取り組んだり、声をかけて励ましたりしたところ、ほとんどの園児が完成させることができた。
- 園児が自分の名前を呼ばれた時の「はい」という返事や自分の意見を発表する時の話型について、小学校入学後も意識して指導することが大切である。

#### イ 授業・保育参観

- 読書の時間では園児は自分の好きな本をすぐにとって読んでいる姿が見られ、本を読むことが習慣化されていると感じた。
- 「英語であそぼう」では園児は楽しみながら活動していたが、小学校3、4年での外国語活動の学習に繋がる活動である。
- ブロックの取り合いになった場面では園児は自分たちでジャンケンをして順番を決めて取り分けていた。
- ほとんどの園児の椅子の運び方や道具の使い方、鉛筆の持ち方がとてもよく、園児に対する指導がしっかりされていると感じた。
- 園児同士のやりとりを促したり、園児が自分で考えられるようにしたりするための担任からの声かけがあり、園児が穏やかに過ごしていた。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

#### ア 千寿・千寿本町小学校グループ「体力向上・体幹を鍛える」

- リトミックを通して、いろいろな動きから体幹を鍛えてきたことで年度

- ・ 背もたれのない椅子に座る機会をつくり、体幹を鍛えることができた。
  - ・ 運動会や持久走、なわとびの取組を通して体力がついてきた。
  - ・ 「足はペッタン、背筋はピン、おなかと背中は一グー」という言葉かけにより座る姿勢の保持を意識させることで入学時より姿勢がよくなった。
- イ 千寿双葉・千寿桜小学校グループ「体力向上・なわとびと投力の向上」
- ・ 外に出る活動にドッジボールを取り入れ、上手に投げる方法について話し合うことで投力の向上に繋がった。
  - ・ 保護者ととともにドッジボールに取り組ませたことで園児の意欲が向上した。
  - ・ 体育の授業に準備運動の一環としてボール投げ運動を取り入れることで投力の向上に繋がった。
  - ・ 運動会の種目としてなわとびを取り入れたことにより、園児のなわとびをする機会が増えた。
  - ・ 区の目標に向けて長縄に取り組ませたが、昨年度よりも跳べる児童が多かったことは保育園や幼稚園等での取組の成果である。
- ウ 千寿常東・千寿第八小学校グループ「体力向上・人とのかかわりを通して」
- ・ 長縄の取組や遊びの中で園児同士がルールを伝え合ったり、確認したりしながら、人とのかかわり合いを学んでいる姿が見られた。
  - ・ タオルや紙テープを使って投げる動作の練習を行ったり、的あてや玉入れを行ったりすることで投力の向上に繋がった。
  - ・ あだっちボールに取り組むことで、上手投げができるようになったり、先を見通して逃げられるようになったりした。また、園児同士で作戦を考える場面も見られた。

## (2) 課題

- ア 千寿・千寿本町小学校グループ
- ・ 姿勢の保持には個人差があり、年間を通して取組を継続させることが必要である。
- イ 千寿双葉・千寿桜小学校グループ
- ・ 年齢によってできる運動や遊びを通して体力向上を図ること、大会等で終わるのではなく継続して取り組むことが必要である。
- ウ 千寿常東・千寿第八小学校グループ
- ・ 力の個人差が大きいので運動の確保が必要であるが、園庭がない保育園では室内での運動を工夫する必要がある。
  - ・ 生活との連続性をどうもたせるか。保育室での工夫が必要であり、家庭で取り組んでもらえるように働きかけをする必要がある。

## 4 今後の取り組み予定

### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア 今後も保育園の新規開設に伴い、保育園の数が増えることが考えられるので、園同士の交流の充実をより一層図っていく。
- イ 学校探検や授業体験等の子どもの交流活動の充実を図る。



### (2) 課題解決に向けて

- ア 年間を通して継続的に体力向上のための取組を行っていく。
- イ 体力向上に繋がるなわとびやドッジボール等を遊びの中に定着させていく。

平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第2ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【扇小学校】

担当園【上沼田保育園】

2ブロック		江北小学校	高野小学校	扇小学校	宮城小学校	
連携園		江北保育園 足立サレジオ幼稚園 江北さくら幼稚園	上沼田保育園	さつき保育園	宮城保育園 三星保育園 東京白百合幼稚園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月31日(火)13:30～ 【会 場】 足立区立扇小学校				
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月22日(金)15:00～ 【会 場】 上沼田保育園				
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(江北)	・6月	・6月	・5月(宮城)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・8月(江北)	・12月	・12月	・1月(宮城・三星)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・実施あり(さつき) ・6月(本木東)	・6月 ・実施あり(さつき)	・6月	・6月(宮城)
		後期		・実施あり		・10月(宮城) ・1月(東京白百合)
	公開保育 (学校から園へ)	・8月(上沼田)	・8月		・7月(宮城) ・8月(宮城)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(江北)	【職員参加】 ・入学式 ・運動会	【職員参加】 ・入学式 (さつき・本木東) ・運動会 (さつき・本木東)	【園長参加】 ・入学式(宮城・三星・東京白百合*理事長参加) ・運動会(宮城・三星・東京白百合*理事長参加) ・三園合同保護者会(宮城) ・展覧会(三星) ・卒業式(三星・東京白百合*理事長参加) 【職員参加】 ・入学式 (宮城・三星・東京白百合) ・三園合同保護者会 (宮城・三星) ・卒業式(東京白百合)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会 (江北・江北さくら) 【職員参加】 ・金管バンド演奏(江北)	【校長参加】 ・運動会 ・保護者会 ・卒園式*副校長参加	【校長参加】 ・夏祭り 【職員参加】 ・夏祭り	【校長参加】 ・運動会(宮城・三星・東京白百合) ・発表会(宮城) ・卒園式 (三星・東京白百合)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月(江北) ・1月(江北さくら) ※交流学年 1・5年生	・1月 ※交流学年 1年生	・1月 ※交流学年 1年生	・10月 (宮城・三星・東京白百合) ※交流学年 1・5年生	
	小学校での 体験授業		・1月 生活科	・10月 生活科	・1月 学校・生活体験 (宮城・三星・東京白百合)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・展覧会 (江北・江北さくら) ・1年生と交流遊び (足立サレジオ) ・交流演奏会 (江北さくら)	・学会	・運動会 ・展覧会	・1年生と遊ぶ (宮城・三星・東京白百合)	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

ア 1年生と園児による体験給食

- ・ 本の読み聞かせ活動

イ 1年生と園児による体験授業

- ・ 生活科としての授業体験

ウ 1年生と園児による学校探検

エ 園児の学校行事への参加

- ・ 小学校の展覧会に園児を招待

- ・ 体験給食では、学校給食への

イメージをもたせるとともに、食事のマナーや好き嫌い無く食べることの大切さを学んでいた。1年生は、そのような内容を園児に伝える活動を通して、再確認することができた。

- ・ 1年生の生活科「作って遊ぼう」の単元では、2年生から遊びを教わる活動を行った後、自分たちが下級生に遊びを教える場面が設定されている。実際に園児のお世話をすることによって、必要な係分担への理解や教えることの難しさを体験することができた。同時に、上級生になることへの心構えや期待感をもたせることができた。

- ・ 体験給食の後で、1年生が園児に絵本の読み聞かせをした。園児が聞き取りやすいように、声の大きさや速さに気をつけながら読む練習をしたことを通して、読書が好きな児童が増えた。

- ・ 展覧会では園児が作った共同作品も展示し、全学年の作品を参観してもらった。学校での図画工作科の活動に期待をもたせることができた。また、1年生が園児に自分の作品を解説する場面では、誇らしげに語る1年生の姿とあこがれの眼差しで聞き入る園児の姿が見られ、入学後の円滑な低学年交流につながると感じた。



【体験給食と本の読み聞かせ】

### (2) 職員の交流

ア 交流研修

- ・ 保育士による一日学校研修

- ・ 教諭による一日保育園研修

イ 授業参観・協議会

- ・ 学校公開週間等の参観

ウ 保育参観・協議会

- ・ 夏季休業中の保育参観

エ 学校行事への参加

- ・ 運動会、展覧会、学芸会の参観

オ 園行事への参加・参観

- ・ 運動会、発表会の参観

- ・ 園保護者会への参加（校長講話）

- ・ 1年担任が一日保育園研修の時に、園児に絵本の読み聞かせをした。小学校で担任が読み聞かせをする際に気をつけていることを、実際の活動を通して検証することができた。

- ・ 今年度のブロック共通テーマである「読書・読み聞かせ」について協議した。子どもたちの読書の世界を広げるためには、地域の図書館の方や保護者、図書ボランティアなど、いろいろな方が選んだ本を読んでもらう体験が有効であることを確認できた。

- ・ 読書に関する保護者への啓発方法について協議した。学級通信を活用して、読み聞かせをした本を紹介するなど、それぞれの工夫を伝え合った。





### 3 成果と課題

#### (1) 成果

##### ア 子どもの交流を通して

- ・ 園児は、体験給食や学校生活体験を通して、次年度からの学校生活への見通しをもち、期待感を高めることができた。
- ・ 1年生は、下級生ができる喜びを実感するとともに、上級生になることの自覚につなげることができた。

##### イ 職員の交流を通して

- ・ 連携する私立園が増え、新しいグループ編成を行ったが、どこのグループでもそれまでの連携活動を元にして、無理なく交流活動を行うことができた。
- ・ 同じ地域にある園と学校が共通に取り組みやすいテーマだったため、実践と振り返りがしやすく、それぞれの子どもにより変容が見られた。
- ・ 保育参観や交流活動を通して、入学してくる子どもの特徴や対応について共通理解を深められたことは、スムーズな接続につながる。

#### (2) 課題

##### ア 子どもの交流

- ・ 交流会の日程調整が難しい場合がある。とくに体験給食の時期がインフルエンザの流行や小学校の欠食日と重ならないようにする必要がある。
- ・ 複数の園と学校が連携しているグループにおいては、交流活動の日程調整が難しくなったり、学校の負担が大きくなったりすることがある。

##### イ 職員の交流

- ・ 園で行う教員の一日研修については、長期休業中に設定することが難しい事情もあった。特に冬休みは、閉校日やウインタースクール（全校一斉に行う補充教室）等があり、調整が難しい。

### 4 今後の取り組み予定

#### (1) 活動内容の充実に向けて

##### ア これまでの連携活動の継続と発展

- ・ 生活リズムや挨拶など、家庭に向けた取組みを継続する。
- ・ 読書、読み聞かせ活動は今後も継続する。とくに、園で図書ボランティア活動に参加していた保護者が、学校でもボランティアとして活動してくれるとますます充実する。

##### イ 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用

- ・ ひとつのテーマについて見開き2ページにポイントがまとめてあり、活用しやすい構成になっているので、研修会等において積極的に活用する。

#### (2) 課題解決に向けて

##### ア 日程調整

- ・ 複数の園が学校と交流しているグループについては、交流活動を同じ日に設定したり、給食交流は1年生以外の学年と行うなどの工夫を取り入れてこれまでの計画を見直し、修正して行う。

##### イ グループ編成

- ・ 私立園の増加や学校統合などの理由で、グループ編成を見直す必要が生じることが予測できる。必要に迫られてから慌てることにならないように、今の内から試験的に交流活動を行ってみるなど、ブロック内の各園・各校が協力していくことが大切である。

平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第3ブロック

※連携している小学校と就学前施設の教や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【西新井第一小学校】

担当園【本木保育園】

3ブロック		興本小学校	西新井第一小学校	西新井小学校	
連携園		興本保育園	西新井聖華保育園 チェリッシュ西新井保育園	興野保育園 西新井幼稚園 西新井教会保育園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月14日(月) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立西新井第一小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月25日(月) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立西新井第一小学校			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月	・5月(西新井聖華)	・5月(西新井教会) ・6月(興野)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月 ・1月	・8月(西新井聖華) ・12月(西新井聖華)	・12月(西新井教会) ・1月(興野)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・実施あり(さつき)	・6月(西新井聖華)	・6月(西新井教会・本木・興本)
		後期			
	公開保育 (学校から園へ)				
	その他 (園から学校へ)	【職員参加】 ・運動会 ・入学式(本木)	【園長参加】 ・入学式(西新井聖華) ・運動会(西新井聖華) 【職員参加】 ・運動会(西新井聖華・八千代)	【園長参加】 ・入学式(興野) ・運動会(興本) 【職員参加】 ・運動会(西新井教会) ・学習発表会(西新井教会)	
その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・夏祭り ・運動会 ・発表会 * 副校長参加	【校長参加】 ・運動会(西新井聖華) ・発表会(西新井聖華) ・保護者会(西新井聖華) ・卒園式(西新井聖華)	【校長参加】 ・卒園式(興野)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月 ※交流学年 4年生	・12月 (西新井聖華・チェリッシュ西新井) ※交流学年 1年生	・12月 (興野・西新井・西新井教会) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・11月授業交流 ・図書交流	・12月生活科(西新井聖華)	・12月生活・音楽・国語 (興野・西新井・西新井教会)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)		・運動会(西新井聖華) ・展覧会(西新井聖華・チェリッシュ西新井)	・運動会練習見学 (興野・西新井教会・興本) ・西小フェスティバル (興野・西新井・西新井教会) ・図書室交流(興野・西新井教会) ・昔遊び (興野・西新井教会・興本) ・学校公開(西新井教会) ・学習発表会(本木)	

3ブロック		本木小学校	寺地小学校	
連携園		本木東保育園 本木保育園	足立双葉幼稚園 扇ころ保育園 高野駅前こども園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(本木) ・6月(本木東)		
	職員交流研修 (学校から園へ)	・10月(本木) ・11月(本木) ・12月(本木・本木東)	・1月(足立双葉・扇ころ)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(本木・本木東)	・6月(扇ころ・さつき)
		後期	・10月(本木東)	・10月(扇ころ・本木東)
	公開保育 (学校から園へ)			
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(本木・本木東) ・運動会(本木・本木東) ・卒業式(本木東) 【職員参加】 ・運動会(本木東)	【園長参加】 ・入学式(足立双葉・扇ころ) ・運動会(足立双葉・扇ころ) ・卒業式(足立双葉・扇ころ) 【職員参加】 ・入学式(本木)・運動会(本木東)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会(本木・本木東 * 副校長参加) ・発表会(本木 * 副校長参加・本木東) ・卒園式 【職員参加】 ・発表会(本木)	【校長参加】 ・運動会(扇ころ・高野駅前こども園・足立双葉 * 副園長参加) ・発表会 (足立双葉・扇ころ * 両園ともに副園長参加)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月(本木) ・12月(本木東) ※交流学年 1年生	・11月(足立双葉・扇ころ) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・11月 ランドセル体験(本木) ・12月 生活科(本木東)	・11月 国語・生活科(足立双葉・扇ころ)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・展覧会(本木)		

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

#### ア 学校探検

- ・ 1年生が5歳児に校内の教室や設備を教えたり、5歳児が1年生体験をしたりした。また、体育館ではフラフープを使って一緒に遊んだり、固定施設では手をつなぐ等の補助をした。1年生は、準備や当日の交流を通して5歳児のためにできることを考え工夫し、実行することができた。どの学校でも行っている内容を取り扱うことにより自分たちの1年前を振り返ることができ、進級することへの意識が高まった。

#### イ 体験給食

- ・ 1年生と5歳児が交流給食会を実施。小学校での給食の雰囲気が分かるように、グループに分かれた。1年生が5歳児の給食の準備や後片付けをした。5歳児にトレイや食器を持たせることで食器の重さや給食の量を知る良い機会になった。また、5年生が給食の準備や後片付けの世話をするように設定した場合は、6年生になった時のお世話の練習にもなった。

#### ウ 図書室交流

- ・ 5歳児に本の貸し出しをした。1年生が5歳児に読み聞かせをした。1年生の国語と算数の教科書を貸し出し、保育園でいつでも読めるようにすることで、教科書というものに慣れることができた。

### (2) 職員の交流

#### ア 交流研修

- ・ 保育士が小学校の授業を参観したり、教師が保育園に行き、模擬授業を行ったり、公開保育に参加した。5歳児の様子や保育士の指導を見ることで、5歳児の発達段階や個々に適した配慮や対応を知ることができた。交流を通して、入学前に保育園で取り組むべきこと、入学後に小学校が配慮することなどが分かった。また、職員同士の繋がりが強くなることで子どもたちのよい環境づくりができた。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ア 5歳児と1年生のつながりの大切さをあらためて学び、教師自身の学びになった。
- イ 5歳児までにどのようなことが身に付いているのかを知ることができた。
- ウ 保育園での子どもたちの生活環境を知ること、小学校生活においても活用できることを見つめることができた。
- エ 1年生だけでなく、他学年の児童も年下の子どもへの配慮ができ、交流を楽しみ、成長を実感することができた。
- オ 小学校での授業や給食を体験することで、5歳児が入学への見通しをもつことができた。
- カ それぞれの教師がそれぞれの場所の様子を見たり体験したりすることで、児童の実態把握に繋がり、話の聞き方、字の書き方等の共通理解ができた。
- キ 図書室交流では1年生が5歳児に本を選んだり、教師が共通の本の読み聞かせを行ったりして、保育園と小学校どちらでも続けて同じ本が読める手立てとなった。
- ク 模擬授業を通して、MIMの取り組みを保育園に伝えることができた。語彙を増やすための手立てとして、また読解力をつけるためにも、今後も情報を共有していく。

(2) 課題

- ア 1年生の担任だけでなく、多くの教師が参加できるようにしていきたい。
- イ 交流の前に5歳児の実態を確認したことで、さらに活動の幅を広げることができたので、来年度も5歳児の実態を確認したうえで、活動内容を吟味したい。
- ウ 5歳児にとって小学校入学への不安やストレスを軽減するための具体的な手立てをさらに考えていきたい。
- エ 幼稚園や保育園で行っている活動が、小学校ではどの活動にあたるのか、幼稚園や保育園で学んできたことを生かす授業、小学校へ向けての活動が行えないか検討する。
- オ 5歳児が他学年の行事見学を行っていた年もあったので検討したい。

4 今後の取り組み予定

(1) 活動内容の充実に向けて

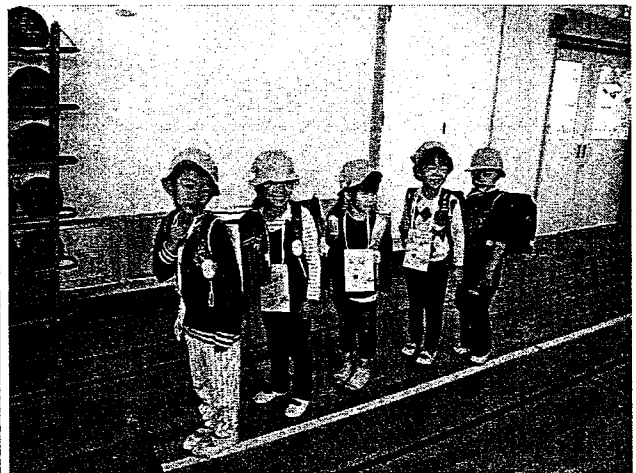
- ア 小学校の図書室の蔵書を活かし、読書交流をより充実させる。
- イ 特別支援教室では具体的にどのような指導を行っているかなどを保育者が知る機会をつくる。
- ウ タブレットを用いた交流、防災・プログラミングの授業見学等の小学校の特色を生かした交流をする。
- エ 職員交流以外にも、園行事等の見学をする。

(2) 課題解決に向けて

- ア どのような子どもを育てていくのか、幼稚園や保育園と小学校の共通理解を図る。
- イ 子どもたちの心の育て方、友達との関わり方など、大人がどのような接し方、声かけをしていくかを考えていく。
- ウ 職員同士、お互いに気軽に子どもたちの様子を見る機会を増やす。
- エ 交流会の活動内容を決める前に十分に連絡を取り、事前に打ち合わせを行い内容の充実を図る。
- オ 職員交流の模擬授業で、MIMを取り入れる。
- カ 職員交流の振り返りとして、園では「立って靴を履く」「鉛筆を正しく持つ」「時間を意識させる」「給食はお皿を持って食べる」「名札をつける」等が挙げたため、引き続き指導していく。



体験給食：5歳児が1人で給食を運びました。



1年生体験：ランドセルを背負ってみました。

平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第4ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【梅島第一小学校】

担当園【梅田保育園】

4ブロック		亀田小学校	栗原小学校	関原小学校	梅島小学校	
連携園		中部ひまわり保育園 足立ひまわり保育園	西新井きらきら保育園 西新井きらきら保育園 第二	橘幼稚園 中部ひまわり保育園 足立ひまわり保育園 専念寺幼稚園	梅島幼稚園 うめだ「子供の家」 日生梅島ひびき保育園 日生梅島第二保育園 ひびき バンビ保育園梅島園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月15日(火)15:00 ~ 【会 場】 足立区立亀田小学校				
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月19日(火)15:00 ~ 【会 場】 足立区立亀田小学校				
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・6月(中部ひまわり 足立ひまわり)	・6月	・6月(足立ひまわり)	・5月(梅田)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月(中部ひまわり 足立ひまわり)	・8月 ・12月	・7月(足立ひまわり) ・8月(中部ひまわり)	・7月(日生梅島ひびき)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期			・6月(橘・中部ひまわり 専念寺)	・6月(梅島・八千代)
		後期				
	公開保育 (学校から園へ)	・2月 (足立ひまわり・梅田)	・(梅田)	・2月 (足立ひまわり・梅田)		
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(中部ひまわり・ 足立ひまわり) ・運動会(中部ひまわり・ 足立ひまわり*主任参 加) 【職員参加】 ・入学式(足立ひまわり)	【職員参加】 ・運動会	【校長参加】 ・入学式 (橘・足立ひまわり) ・運動会 (橘・中部ひまわり・足立 ひまわり*主任参加) ・卒業式(足立ひまわり) 【職員参加】 ・入学式(中部ひまわり・ 足立ひまわり・本木東 本木) ・運動会(本木東)	【園長参加】 ・運動会(梅田) 【職員参加】 ・運動会(八千代)	
その他 (学校から園へ)				【校長参加】 ・運動会(梅田) ・卒園式(梅田)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月(中部ひまわり 足立ひまわり) ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	・11月(橘・中部ひまわ り・足立ひまわり) ※交流学年1・4・5年生	・7月(日生梅島ひびき・ 日生梅島第二保育園ひ びき) ・9月(エーワン梅島) ・11月(バンビ保育園梅 島) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・11月(足立ひまわり)	・10月	・11月 学校探検・読み 聞かせ (橘・中部ひまわり・足立 ひまわり)	・7月(日生梅島ひびき) ・11月 (うめだ「子供の家」) ・図書利用(梅田)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・12月 音楽会 (足立ひまわり)	・11月 展覧会・持久走 大会	・12月 音楽会(中部ひ まわり・足立ひまわり)	・学芸会(エーワン梅島)	

4ブロック		島根小学校	梅島第一小学校	梅島第二小学校	
連携園		島根いちい保育園 栗原つくし保育園	エーワン梅島保育園 こだま幼稚園 島根保育園	八千代幼稚園 梅田保育園 親隣館保育園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(島根いちい) ・7月(栗原つくし)	・4月(島根)	・6月(八千代) ・5月・6月(梅田)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・8月(栗原つくし) ・12月(島根いちい・栗原つくし)		・12月(梅田)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(島根いちい・栗原つくし)		・6月(八千代) ・(梅田)
		後期			・(梅田)
	公開保育 (学校から園へ)	・7・8月(栗原つくし・梅田)	・(梅田)	・(梅田)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式 (島根いちい・栗原つくし) ・運動会 (島根いちい・栗原つくし・ふちえ) 【職員参加】 ・入学式(ふちえ) ・運動会(ふちえ) ・卒業式(ふちえ)	【職員参加】 ・運動会(中島根)	【園長参加】 ・入学式(梅田) ・運動会(梅田) 【職員参加】 ・運動会(八千代・中部ひまわり) ・図書ボランティア(親隣館)	
その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・入園式(ふちえ) ・運動会 (島根いちい・栗原つくし・ふちえ) ・卒園式(ふちえ)		【校長・副校長参加】 ・運動会(八千代・梅田) ・保護者会(梅田) ・卒園式(梅田) 【職員参加】 ・園児の様子聞き取り(八千代)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・10月(島根いちい) ・11月(栗原つくし) ※交流学年 5年生	・11月(こだま・島根) ・12月(こだま) ※交流学年 4・5年生	・11月(梅田・親隣館) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・10月授業参観(島根いちい) ・11月授業参観(栗原つくし) ・1月生活科 (島根いちい・栗原つくし)	・6月(島根) ・2月(島根・こだま)	・11月(梅田) ・12月(八千代)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・7月 しまねっこまつり (島根いちい・栗原つくし) ・12月 展覧会 (島根いちい・栗原つくし)	・11月展覧会(島根)	・11月展覧会(梅田)	

## 2 具体的な活動と評価

今年度の担当校の亀田小学校と足立ひまわり保育園・中部ひまわり保育園の実践報告とブロック全体での検証を記載する。

### (1) 子どもの交流

#### ア 学校のことを伝えよう

- ・ アサガオの育ち方を生活科で作ったカードをもとに伝えた。自分たちが育てたアサガオの種をプレゼントした。
- ・ 学校のことにに関するクイズを作って発表した。
- ・ 児童は園児と交流することを楽しみにしていた。何を伝えたらいいか考え、話し合いを行った。1年生になったら育てるアサガオのことを伝えたら役に立つ、プレゼントもしたい、学校のことをクイズにしたらわかりやすいという結論になり、意欲的に取り組むことができた。グループごとに交流し、園児と関わりながら、仲良くなったり教えたりすることで自分たちの成長を感じる機会となった。

#### イ 給食交流

- ・ 園児が使うランチョンマットを作った。
- ・ 配膳の仕方から後片付けまで一緒に行った。

### (2) 職員の交流

#### ア 保育園から学校へ

- ・ 1年生の教室の様子、学習の様子を参観してもらった。
- ・ 交流活動についての打ち合わせを行った。

#### イ 学校から保育園へ

- ・ 足立ひまわり保育園での1日保育参観
- ・ 中部ひまわり保育園での1日保育参観
- ・ 園児が自分たちで着替えたり布団を敷いたり、約束を守って集団で行動できていることがわかった。小学校に入学してからも、「1年生だから、小さいから」と大人が手伝ってしまうのではなく、自分でできることを増やしていけるようにすることが大切だと分かった。
- ・ 園児から呼ばれた際に教員自身も「はい」と返事をするのが大切だという気づきから、呼名に対する「返事」について着目した。あいさつと併せて、社会人基礎力として重要なものであるととらえ、小学校・幼稚園保育園等での共通の取組として、1年間実践した。

## 3 成果と課題

実践後の振り返り・共有を必ず行うこととし、成果と課題を即時検証した。

### (1) 成果

#### ア 意欲的に取り組めた

- ・ 「伝える」活動を通して、1年生は自分たちの成長を実感できた。
- ・ 自分たちの学校のクイズを作ることで、小学校の良い所を見つけることができた。

#### イ 保育園の様子が分かった

- ・ 1日参観することにより、1日の生活の仕方が分かった。考えていた以上に集団で行動できていた
- ・ 保育園と小学校と交流することで、あいさつや返事の仕方、呼名の仕方など連携して取り組めた。



(2) 課題

ア 交流の時期

- ・ 今年度は他学年の社会科見学に合わせて11月に給食交流を行った。次年度以降も11月に行えと、インフルエンザやノロウイルスの心配をしなくてよい（前年度までは入学を控えた1月・2月の設定としてきた経緯があり、配慮が必要な状況の中で、延期や中止などの対応が発生した）。
- ・ 交流直後に話し合いをすることは難しかったため、別途機会を設定した。

イ 話の聞き方

- ・ ブロック会議では、話の聞き方について、保育園・1年生ともに課題があることが分かった。挨拶・返事と同じように話の聞き方についても連携していけると良い。

4 今後の取り組み予定

(1) 活動内容の充実に向けて

ア 交流の内容

- ・ より充実した内容・方法の検討していく。特別教室（図書室や音楽室）や校庭・体育館の利用も考えたい。
- ・ 情報交換を密に行う必要がある。

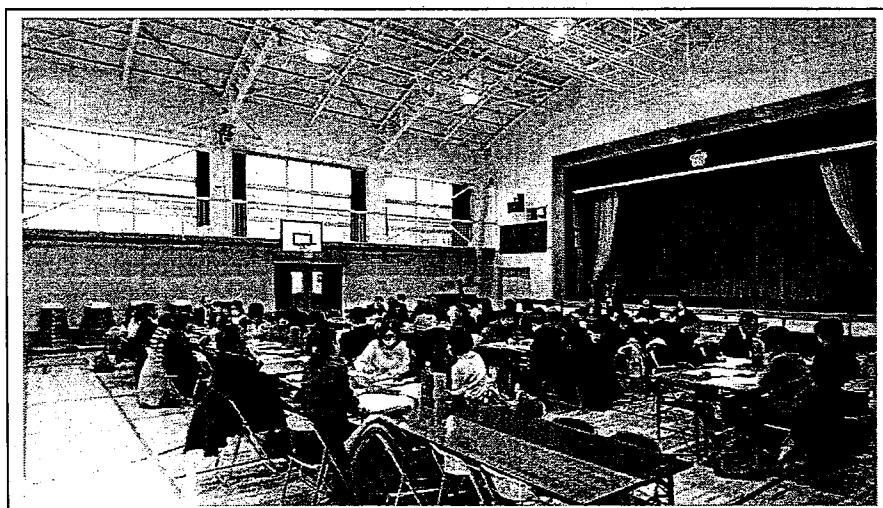
イ 幼稚園・保育園等、各園の連携、情報共有について

- ・ 意図的に機会を設定しての連携事業の他にも、日常的に情報交換や指導方法の交流等を行えると良い。

(2) 課題解決に向けて

ア 交流の内容について綿密に計画を立てる必要がある。

- ・ 話の聞き方や鉛筆の持ち方、箸の使い方等についても情報交換を行い、段階的に系統立てて共有実践していく。



平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第5ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【弘道小学校】

担当園【中央本町保育園】

5ブロック	弥生小学校	足立小学校	弘道小学校	弘道第一小学校		
連携園	城北幼稚園 やよい保育園 中央本町保育園 足立梅島雲母保育園	春光幼稚園 高和保育園 五反野保育園 子ひばり保育園	弘道幼稚園 西綾瀬りりおっこ保育園 五反野幼稚園	のぞみ幼稚園 聖華こうどう保育園		
会議	第1回ブロック会議	【日時】 5月22日(火) 13:45 ~ 【会場】 足立区立弘道小学校				
	第2回ブロック会議	【日時】 2月5日(火) 13:45 ~ 【会場】 足立区立弘道小学校				
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(城北・やよい 中央本町)	・5月(春光・五反野 高和)	・5月(西綾瀬りりおっこ) ・1月(五反野)	・9月(聖華こうどう)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・1月(中央本町) ・2月(城北)	・8月(五反野) ・1月(五反野・子ひばり 春光・高和)	・8月(西綾瀬りりおっこ) ・1月(弘道)	・12月(聖華こうどう)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・(中央本町)	・6月(春光)	・6月(五反野)	・6月(聖華こうどう)
		後期		・9月(春光)	・10月(弘道・五反野)	
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(やよい) ・8月(城北) ・中央本町(校長含む)	・7月(高和・五反野) ・9月(春光) ・1月(子ひばり)	・7月(五反野保) ・8月(五反野)	・7月(のぞみ)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(中央本町・城北 * 理事長代行参加) ・運動会(中央本町・城北 * 理事長参加) ・卒業式 (城北 * 理事長参加) 【職員参加】 ・入学式(城北・やよい・ 中央本町) ・運動会(城北・やよい) ・卒業式(城北・やよい)	【園長参加】 ・入学式(春光・高和) ・卒業式(春光・高和) 【職員参加】 ・運動会(子ひばり・春光 八千代・高和)	【園長参加】 ・入学式(弘道 * 理事長参 加・西綾瀬りりおっこ) ・周年行事(弘道 * 理事長 参加・西綾瀬りりおっこ・五 反野) ・運動会(弘道 * 理事長参 加・五反野) ・フェスティバル(弘道 * 理 事長参加・五反野) ・展覧会 (弘道 * 副園長参加) ・研究発表(弘道 * 理事長 参加・五反野) 【職員参加】 ・運動会 (西綾瀬りりおっこ・五反野) ・公開研究 (西綾瀬りりおっこ) ・フェスティバル(五反野) ・研究発表 (西綾瀬りりおっこ)	【園長参加】 ・入学式 (のぞみ・聖華こうどう) ・運動会(聖華こうどう) ・卒業式(のぞみ) 【職員参加】 ・入学式(のぞみ) ・卒業式(のぞみ)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会(中央本町) ・保護者会(中央本町) ・卒園式(中央本町)	【副校長参加】 ・運動会(春光・高和) ・卒園式(子ひばり) 【職員参加】 ・卒園式(高和)	【校長参加】 ・運動会(弘道・西綾瀬 りりおっこ・五反野) ・卒園式(五反野) 【副校長参加】 ・運動会(弘道・西綾瀬 りりおっこ・五反野) 【職員参加】 ・運動会(弘道・西綾瀬 りりおっこ・五反野)	【校長参加】 ・運動会(聖華こうどう) ・卒園式(聖華こうどう)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・9月(城北) ・11月(中央本町) ・12月(やよい) ※交流学年 1年生	・10月(春光・高和・子ひ ばり) ・12月(五反野) ※交流学年 1年生	・12月(五反野) ・1月(西綾瀬りりおっこ・ 弘道) ※交流学年 1年生	・11月(聖華こうどう) ※交流学年 5年生	
	小学校での 体験授業	・9月(城北) ・11月(中央本町) ・12月(やよい)	・1月(春光・高和・五反 野・子ひばり)	・1月(弘道・西綾瀬りり おっこ) ・(五反野)	・2月 (聖華こうどう・のぞみ)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・学芸会(中央本町)	・6月運動会(春光) ・12月学芸会(五反野 春光)	・運動会(弘道・西綾瀬 りりおっこ)		

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

#### ア 体験給食

- ・ 1年生が園児の手本となり、給食の準備について紹介してから配膳を一緒に行った。お盆が傾いてしまう園児に「もっとこう持ったらいいよ」と親切に声をかけたり、牛乳を飲むストローの袋を上手に開けられるように手伝ったりする1年生の姿から、園児は「お兄さん、お姉さんが優しいな」と感じている様子であった。
- ・ 1年生は、園児のお世話を楽しく行っている反面、難しさも感じているようだった。「どう伝えたら分かってくれるかな」と言葉を選んで声をかけ、園児の反応にしっかり応えていた。給食を一緒に食べることの嬉しさや給食を楽しみにして来年度小学校に来て欲しいと願うこと等、自己や園児についての気付きがあった。

#### イ 生活科体験授業

- ・ 「園児と楽しく交流できるように」と1年生は、「一緒に的当てゲームをする」「にこにこ山に登る」「ジャングルジムや雲梯、鉄棒で遊ぶ」「広い校庭を走る」等を計画した。自分の計画を遂行し、園児とともに楽しめたことが自信となり、自分は来年度2年生になって1年生のお世話をするのだという自覚につながった。園児は入学することが楽しみとなり、お互いに良い経験となった。
- ・ 「1年生が今頑張っていること」として長縄の取り組みを紹介した。3分間で150回跳べる様子を1年生が見せ、1年生になって頑張るとこんなことができるようになる、と期待をもたせることができた。

### (2) 職員の交流

#### ア 保育園担任による授業参観

- ・ 1年生のクラスでの授業、運動会練習、給食の様子を参観した。5歳児担任が、児童の入学後の成長の様子を参観することができ、今後の保育に生かすことができた。

#### イ 公開保育の参観

- ・ 幼稚園や保育園における5歳児の活動を見学した。幼稚園・保育園等の活動内容、幼児・園児の様子を知るために、園での指導の仕方（準備、言葉遣い、個別の対応）を学んだ。

#### ウ 1年生担任による保育参加

- ・ 入学前の5歳児が、日頃どのような指導を受けているのか、また小学校で取り組むべき課題は何かについて、実際の園児の活動や保育者の指導から学んだ。
- ・ 毎日の生活の流れが身に付いており、ピアノの音楽に合わせて活動ができていた。園児に対する指示は理解しやすい言葉で出されており、ほとんどの園児が指示に従って自ら行動していた。制作活動があり、型を写し取ったり、紙を切ったりする活動では、道具の使い方やかかる時間に個人差が見られた。入学後にも留意しながら指導する必要がある。体操の時間には、鉄棒指導が行われ、補助の仕方など大変勉強になった。
- ・ 幼保小の接続をなめらかにするため、就学前に身に付けさせたい10の姿を意識した交流研修を実施することができた。園児の実態を予めおおよそ把握することができたので、入学後の指導につなげられるようにしたい。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ア 子どもの交流では、小学校はどんなところなのか、体験を通して具体的に知って見通しをもつことができるので、園児の小学校入学への期待が高まった。
- イ 1年生は、園児と交流することで2年生に進級するという自覚を育み、園児に喜んでもらおうと考えることで相手意識をもって活動することができた。自分は年上らしく、年下の子どもに優しく教える姿がどの児童にも見られた。
- ウ 交流を行った後の園児は、自分のことは自分で行おうとする様子が多く見られた。小学生に憧れをもち、努力するきっかけとなっている。

#### (2) 課題

- ア スケジュール面で厳しいかもしれないが、子どもだけでなく大人も交流できるとよい。また、他園同士のつながりももっていききたい。
- イ それぞれの幼稚園や保育園等での生活経験の違いについて、小学校でその差をどのように縮めていくことができるのか、明確にしていきたい。

### 4 今後の取り組み予定

#### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア 子どもが交流する活動を意図的、計画的に行っていく。
- イ 園の散歩で小学校に寄って校庭遊びをしたり、音楽や図工の授業を体験したりして普段の延長線上で交流できるとよい。可能性を模索したい。

#### (2) 課題解決に向けて

- ア 子どもの発達段階と発達課題を教師と保育者が相互に理解し、適切な活動を継続的に行って意欲や自己肯定感を育むようにする。
- イ 年長児が少ない園は、就学前施設間での連携も含め、小学校へのなめらかな移行ができるようにしていく。



平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第6ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【東綾瀬小学校】

担当園【東綾瀬保育園】

6ブロック		長門小学校	綾瀬小学校	東加平小学校	東洲江小学校	
連携園		隅田学園	足立白梅あやせ保育園 あやせ保育園 東部若葉保育園 コンビプラザ綾瀬保育園 チェリッシュ綾瀬保育園	チェリー保育園 北綾瀬聖華保育園 にじいろ保育園綾瀬	チェリー保育園 東保育園 北綾瀬聖華保育園 聖フランシスコ幼稚園 聖母のさゆり保育園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月14日(月) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立東綾瀬小学校				
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月18日(月) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立東綾瀬小学校				
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・7月	・5月(あやせ)	・4月(チェリー)	・5月(東)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・8月	・12月(あやせ)	・7月(青井) ・8月 (北綾瀬聖華・青井) ・1月(北綾瀬聖華)	・8月(北綾瀬聖華) ・12月 (東・聖母のさゆり) ・1月(北綾瀬聖華)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月	・6月(あやせ)	・5月(北綾瀬聖華)	・5月(北綾瀬聖華)
		後期	・10月	・10月(あやせ)	・9月(北綾瀬聖華)	
	公開保育 (学校から園へ)	・8月	・8月(東綾瀬きらきら)	・7月(あおい)		
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式 ・卒業式 【職員参加】 ・運動会	【園長参加】 ・入学式(あやせ) ・運動会(あやせ) ・卒業式(あやせ) 【職員参加】 ・入学式(あやせ) ・運動会(あやせ)	【園長参加】 ・入学式(北綾瀬聖華) ・運動会(北綾瀬聖華) 【職員参加】 ・運動会(北綾瀬聖華)	【園長参加】 ・入学式(東) 【職員参加】 ・入学式 (聖フランシスコ・北綾瀬 聖華・おおやた) ・運動会(おおやた・聖フ ランシスコ) ・学芸会(北綾瀬聖華) ・書初め (聖フランシスコ)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・入園式 ・運動会 ・卒園式		【副校長参加】 ・運動会(北綾瀬聖華)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食			・12月 (北綾瀬聖華・にじいろ 保育園綾瀬) ※交流学年 1・5年生	・10月(チェリー・東 ・聖フランシスコ ・聖母のさゆり) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・1月		・3月(チェリー・にじいろ 保育園綾瀬)	・10月 1年生体験 (チェリー・聖フランシスコ 聖母のさゆり)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・運動会	・展覧会(あやせ)	・展覧会(北綾瀬聖華・ にじいろ保育園綾瀬)	・学芸会(聖母のさゆり 北綾瀬聖華)	

幼保小連携活動報告 第6ブロック

6ブロック		北三谷小学校	大谷田小学校	東綾瀬小学校	
連携園		美松学園幼稚園 親愛幼稚園 東和保育園	聖フランシスコ幼稚園 隅田学園	東綾瀬保育園 足立若葉保育園 東綾瀬きらきら保育園 あやせババール園 恵・YOU保育園 ビーフェア東和親水保育園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)			・5月(あやせババール園・東綾瀬・東綾瀬きらきら・足立若葉) ・6月(東綾瀬)	
	職員交流研修 (学校から園へ)		・1月	・8月(東綾瀬) ・12月(東綾瀬)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(あやせ)		・6月(あやせババール園・東綾瀬・東綾瀬きらきら・足立若葉)
		後期	・10月(あやせ)	・(大谷田第一)	・10月(東綾瀬・東綾瀬きらきら)
	公開保育 (学校から園へ)				・8月(あやせババール園・東綾瀬・東綾瀬きらきら)
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(聖フランシスコ) ・運動会(聖フランシスコ) 【職員参加】 ・運動会((聖フランシスコ) ・二分の一人成人式((聖フランシスコ)	【園長参加】 ・運動会(聖フランシスコ) 【職員参加】 ・入学式(聖フランシスコ) ・運動会(聖フランシスコ・大谷田第一) ・音楽会(聖フランシスコ)	【園長参加】 ・入学式 (恵・YOU・東綾瀬・足立若葉) ・運動会(東綾瀬・足立若葉*副園長参加・恵・YOU) ・音楽会(足立若葉*副園長参加・恵・YOU) ・卒業式 (東綾瀬・足立若葉・恵・YOU) 【職員参加】 ・音楽会 (東綾瀬きらきら・あやせババール園) ・運動会(聖フランシスコ)	
その他 (学校から園へ)		【校長参加】 ・入園式(隅田) ・運動会(聖フランシスコ*副校長参加・隅田) ・卒園式(隅田)	【校長参加】 ・運動会(東綾瀬・足立若葉・あやせババール園*副校長参加) ・卒園式(東綾瀬・あやせババール園*副校長参加)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・10月(親愛)		・11月 (足立若葉・東綾瀬きらきら) ・12月(東綾瀬・あやせババール園・恵・YOU・ビーフェア東和親水) ※交流学年 5年生	
	小学校での 体験授業		・2月 体験授業(隅田)		
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・作品展覧会(美松学園) ・学校公開(東和)	・音楽会(聖フランシスコ) ・交流音楽会(隅田)	・読み聞かせ(東綾瀬きらきら) ・音楽会 (東綾瀬・東綾瀬きらきら・あやせババール園・恵・YOU・あやせ) ・校庭開放(東綾瀬きらきら)	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

#### ア 小学生と保育園児の交流

- 5月の絵本の読み聞かせに始まり、東綾瀬小学校5年生と保育園6園（足立若葉、あやせババール、東綾瀬きらきら、東綾瀬、恵YOU、ビーフェアー東和親水）100名との休み時間を活用した交流を計7回行った。交流をすることで、学校の雰囲気にも慣れ、就学への期待が高まっていた。児童にも年下の子どもへのいたわりの気持ちが芽生えていた。交流を重ねた後に行った体験給食は、5年生が2日間を設定して対応するが、学校クイズ、少人数での学校探検と趣向を凝らし、園児も親しみを持ちながら学校を知ることができていた。

#### イ 5歳児交流活動

- 15の保育園等の5歳児約240名が就学校別にチームをつくり簡単なゲームを楽しんだ。就学先が同じ園児と顔見知りになることで不安を軽減し、学校名を意識することで就学への期待を高めることができた。

### (2) 職員の交流

#### ア 小学校養護教諭と保育園看護師協議会

- 養護教諭7名（綾瀬、東綾瀬、東加平、東渕江、北三谷、大谷田、長門）と看護師6名（あやせババール、隅田学園、にじいろ、東綾瀬きらきら足立若葉、東綾瀬）で子どもの健康についての協議会を行った。歯科指導については、親への受診や治療のアプローチを今後も継続して取り組むことと小学校、保育園ともに歯科検診後の受診率をあげていくことを目標にしているとの報告があった。

#### イ 保育園6園と東綾瀬小学校の交流

- 4月に東綾瀬小学校長と交流保育園の園長が顔合わせし、おおよその交流内容を決定した。その後、小学校5年生担任、各5歳児担任が具体的な日程を含めた内容を話し合うことで、交流園が増えている中でも職員が共通認識をもって取り組むことができた。また定期的な交流を行う中で保育者同士も顔見知りとなり、連携しやすい関係が構築できた。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

#### ア 子どもの交流

- 園児は校内の様子や授業を見学することで、小学校の雰囲気や、イメージがわき、就学に期待をもつことができた。また1年生が園児に鉛筆の持ち方などを教えたことで、小学生としての自覚をもつことができ、双方に良い機会となった。体験給食で1年生と園児がゆっくり話す時間がもてたのも良かった。小学生との交流はもちろんだが、幼稚園、保育園等の子どもたちが一緒に交流できたのも就学に向けて心強いものとなる。

#### イ 職員交流

- 養護教諭と看護師の協議会では、教諭と保育者以外の視点で子どもの育ちを見直す機会となった。歯科指導、基本的な生活習慣の指導の他に、自己発信力の弱さなどの課題にも気付くことができた。また保育園と小学校で重複する事業（6歳白歯指導）について、実施の時期等を見直すことができた。
- 小学校の夏季休業期間中に、3園の公開保育を実施した。計102名の参加があり、園児の発達による遊びの違い、環境設定等を知ることができたとの意見があった。また5歳児の文字への出会わせ方として、学校で使用する教科書体標記することなど、保育者の気付きもあった。

(2) 課題

ア 子どもとの交流

- ・ 就学前施設の増加により連携・交流を受け入れる園数、園児数が増加している小学校がある。また同じブロック内でも受け入れる園数に地域差が見られる。園児数の多い幼稚園の受け入れ体制について課題がある。
- ・ インフルエンザの流行により体験給食が中止となった園があった。早めに日程を決めたり、また代替日も決めたりしておくことで、体験の機会を確保する必要がある。

4 今後の取り組み予定

(1) 活動内容の充実に向けて

- ア 交流活動に向けて、1年間の計画を年度始めに施設長同士、担任同士が集まり確認することで、目的が明確となり、共通理解を図ることができる。円滑な連携・交流に繋げていくために継続して取り組んでいく。
- イ 子どもの学びを支えるための環境を整えるために、基本的な生活習慣の確立等、家庭と連携して取り組むべき課題について、就学前施設と小学校が共有し、体系的な関わりを行うことが望ましい。小学校養護教諭と保育園の看護師が情報を交換し、地域の生活面での状況を把握した上で連携を強化していく。
- ウ 様々な交流・活動を実施する中で職員間が顔見知りとなり、連携を図りやすい環境を構築していく。

(2) 課題解決に向けて

- ア 就学前の体験給食は、感染症等で実施できなかった場合のために予備日を設けるようにする。そのために各交流学校と交流園で早めに日程の調整を行い、体験の確保に努める。
- イ 子どもとの交流及び体験給食については、それぞれの目的にあわせて、時間や交流する学年等を検討し実施していく。また事前に施設長、担任同士で顔を合わせて話し合うことで、目的の明確化、共有化を図り、有効的な活動としていく。



学校体験  
学校探検、給食体験の前に学校クイズ



5歳児 地域交流  
16園 ミニ運動会



平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第7ブロック

担当校【中川東小学校】

担当園【六木保育園】

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

7ブロック		中川東小学校	辰沼小学校	中川小学校
連携園		おおやたこども園 ナーサリースクールいずみ大谷田	辰沼保育園	大谷田第一保育園
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月7日(月) 15:30 ~ 【会 場】 足立区立中川東小学校		
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月4日(月) 15:30 ~ 【会 場】 足立区立中川東小学校		
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(おおやた)	・5月	・5月(大谷田第一)
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月	・12月	・1月
	学校公開 (園から学校へ)	前期 ・6月(おおやた・大谷田第一・辰沼)	・6月	・6月(辰沼・大谷田第一)
		後期 ・10月(おおやた)	・10月	
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(ナーサリースクールいずみ 大谷田・東京いずみ) ・8月(おおやた)	・7月 ・8月	・7月
	その他 (園から学校へ)		【園長参加】 ・入学式 ・授業参観 ・運動会 ・音楽会 【職員参加】 ・入学式(辰沼・おおやた) ・音楽会 ・お別れコンサート(副園長参加)	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・音楽会 ・卒業式 【職員参加】 ・運動会(おおやた)
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・入園式(おおやた) ・運動会(おおやた) ・5歳児保護者懇談会(おおやた) 【職員参加】 ・運動会(おおやた)	【校長参加】 ・運動会 ・発表会 ・卒園式 【職員参加】 ・発表会 ・保護者会 ・運動会(おおやた)	【校長参加】 ・運動会 ・発表会 ・卒園式
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・1月(おおやた) ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	・11月 ※交流学年 1年生
	小学校での 体験授業	・1月 国語・生活科 (おおやた・ナーサリースクール いずみ大谷田)	・6月 授業見学 学校探検	・11月 学校探検
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・サツマイモ苗植え(おおやた) ・プール体験(おおやた) ・おいもパーティー(おおやた) ・学芸会(おおやた)	・音楽会	・プール体験 ・音楽会

幼保小連携活動報告 第7ブロック

7ブロック		中川北小学校	六木小学校	
連携園		六木保育園	神明町保育園 六木保育園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月	・7月(神明町)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・1月 ・8月		
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(六木・辰沼)	・6月(六木・辰沼)
		後期	・10月	・10月(六木)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月	・7月(神明町) ・12月(神明町)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式・運動会・卒業式 【職員参加】 ・運動会(おおやた)	【園長参加】 ・入学式(神明町)・運動会(神明町) ・周年行事(六木) 【職員参加】 ・入学式(六木) ・運動会(神明町・六木・おおやた)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会 ・発表会*副校長参加 ・卒園式		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・2月 ※交流学年 1年生	・7月(神明町) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業			
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・学芸会 ・体育館で遊ぶ		

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

#### ア 体験授業

- ・ 1年生の教室で授業を体験  
1年生が園児に読み聞かせをしたり、ランドセルを背負わせたりして、小学校の教室で学習する体験をさせた。園児にとって小学校入学への不安が取り除かれ、就学への期待をふくらませるものになった様子であった。
- ・ プール体験授業  
4・5年生それぞれと園児が小学校のプールで一緒に遊んだ。大きなプールに初めはこわごわであった園児も、児童に手を引かれ嬉しそうな表情に変わっていった。小学校の水泳指導への期待感につながっていた。



#### イ 体験給食

- ・ 園児が小学校の給食を体験した。アレルギーを有する園児への対応として、事前に栄養士同士が連携をとり、場合によっては献立の変更も可として柔軟な対応ができるように配慮した。

#### ウ 行事参観・参加

- ・ 各校の学校行事（学芸会や音楽会等）を園児が参観し、小学校の雰囲気味わった。
- ・ 幼保小中高連携の音楽会（ジョイントコンサート）に共に参加し、交流を深める取り組みも長年続いている。



### (2) 職員の交流

#### ア 授業参観

- ・ 各校の学校公開を活用して、園の職員が授業や児童の様子を参観した。個別の配慮が必要な卒園児への対応について、情報交換を行うことで、以後の指導に生かすことができた。

#### イ 保育参観

- ・ 7・8月の夏季休業中を活用して教員が園の保育を参観した。小学校の教員にとって、目の前で園児がどのような保育をされているのかを参観できることは、滑らかな移行について考えるよいきっかけとなっている。

#### ウ 保護者会への参加・説明

- ・ 園の保護者会へ連携校の校長や1年担任が参加して、保護者へ話をする機会を設けた。入学説明会とは違った切り口で小学校の視点を伝えることができ、保護者の理解啓発に有効であった。

#### エ 施設長会議の開催

- ・ ブロック校長会の日に合わせて、施設長会議を年2回開催した。（7月・11月）ブロック会議の他に施設長が一堂に会する機会を増やすことは、密なコミュニケーションにつながり、連携の深まりを促進した。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

#### ア 交流の充実

- ・ どの小学校と園との交流も、これまでに築いてきた積み重ねを生かして、今年度も充実した交流活動が行われたことが分かる。特に、職員同士のコミュニケーションが密にとられることで、共通理解が図られていた様子が伺える。「交流が自然にできるブロック」との自負をもっている。

イ 「入学までに身に付けたいこと」の改訂

- ・ 本ブロックで取り組んできた「入学までに身に付けたいこと」の見直しを、今年度の大きな検討事項とした。足立区教育委員会が実施している「第1学年に関するアンケート」との重複をなくすことを検討すると共に、労多くして作成された貴重な資料が、はたしてどれだけ活用されているのかを確認した。滑らかな移行を目指して一番情報交換しなければならないことは何か、いつ情報交換することが有効か検討を重ねた。
- ・ その結果、本ブロック独自の「入学までに身に付けたいこと」の項目と文言の見直しを行った。また、それを新たに校長会と園長会の連名で5歳児保護者に年度当初に発信することにした。これにより学校と園が同じ方向を向いて、同じ意識で連携していることをアピールできるであろうと考えている。
- ・ 実効性のある検討が第1・2回ブロック会議及び施設長会議で展開されたと考える。

(2) 課題

ア さらなる交流の充実を求めて

- ・ 授業参観や保育参観の参観率を見ると、温度差があるようである。温度差は、交流の深さに影響を及ぼしている。
- ・ 私立園との交流について働きかけを続けてきたが、今年度新しく私立園となった園との交流が十分にできなかった。交流への要望は確認しているので、引き続き働きかけていく必要がある。
- ・ 子どもの交流も既存の取り組みにとらわれることなく、様々な交流の可能性を探っていきたい。例えば、次年度最高学年になる5年生との交流を増やす、1年生が5歳児に教える交流（ミニ授業）など、その後の活動を見通した内容とし、さらに充実させていく。

イ 保護者との連携を深めて

- ・ 保護者の理解を得られづらい家庭への対応に課題がある。それゆえに「入学までに身に付けたいこと」を保護者と共有することが重要である。これまでも「正しい鉛筆の持ち方」や「話の聞き方」に大きな成果が見られたので、より一層連携を深めていくことに力を入れる。

4 今後の取り組み予定

(1) 活動内容の充実に向けて

ア 「学びの芽生え」を大切に育てる。

- ・ 学力向上は足立区の喫緊の課題である。詰め込むのではなく、学びの芽生えを大切にしたい取り組みをし、「なぜ?」「不思議だなあ」と思う気持ちを大切に育てていく。そのためには幼児期の豊かな体験が重要になってくる。幼児期に育まれた力が、小学校教育に滑らかに接続していくよう配慮する必要がある。

イ 職員交流の充実を図る。

- ・ 何を視点に参観するかなどを明確にして、より質の高い交流へと転換していく。



(2) 課題解決に向けて

ア 互いの教育活動のねらいを知って交流する。

- ・ 学校と園とでは当然のことながら、カリキュラムの違いがある。その違いを正しく理解し、特に「幼稚園教育要領等」と「小学校学習指導要領」の求めているねらいに沿って、連携を深めていく。

平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第8ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【平野小学校】

担当園【平野保育園】

8ブロック		青井小学校	栗島小学校	平野小学校	
連携園		青井保育園 明日葉保育園青井園	栗島幼稚園	平野保育園 足立つくし幼稚園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】5月17日(木) 13:15 ~ 【会 場】足立区立平野小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】2月21日(木) 13:30 ~ 【会 場】足立区立平野小学校			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・4月(青井) ・6月(明日葉保育園青井園)		・4月(平野)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月(青井) ・8月(青井) ・12月(青井)		・12月(平野・足立つくし)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(青井)		・5月(足立つくし) ・6月(平野・足立つくし・中島根)
		後期	・10月(青井)		・10月(平野) ・2月(足立つくし)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(青井・平野) ・8月(栗島)	・7月(平野) ・8月	・8月(平野・足立つくし)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(青井・弘道幼) ・卒業式(青井) 【職員参加】 ・入学式(栗島) ・運動会(青井)	【園長参加】 ・入学式 【職員参加】 ・運動会	【園長参加】 ・入学式(平野・足立つくし) ・運動会(平野・足立つくし) ・卒業式(平野・足立つくし) 【職員参加】 ・運動会 (平野・足立つくし・中島根 おおやた)	
その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・入園式(栗島) ・運動会(青井) ・発表会(青井) ・たのしいコンサート(栗島) ・卒園式(青井*副校長参加)	【校長参加】 ・入園式	【校長参加】 ・運動会(平野・足立つくし*副園 長参加) ・5歳児保護者会(平野) ・卒園式(平野・足立つくし)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・7月(青井) ・10月(明日葉保育園青井) ※交流学年 3年生	・1月 ※交流学年 6年生	・2月(平野) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・12月交流遊び(青井)		・1月 小学生体験(足立つくし) ・2月 小学生体験(平野)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・運動会(青井) ・展覧会 (青井・明日葉保育園青井)		・学芸会(平野・足立つくし)	

幼保小連携活動報告 第8ブロック

8ブロック		加平小学校	東栗原小学校	
連携園		六町駅前保育園 野のはな保育園(5歳児在籍なし) あおい幼稚園 たんぼぼ保育所六町園	東栗原保育園 クレーナーサリー足立さくら園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)		・5月(クレーナーサリー足立さくら園・平野)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・8月(東栗原) ・11月(たんぼぼ保育所六町園) ・12月(たんぼぼ保育所六町園) ・1月(たんぼぼ保育所六町園・東栗原)	・12月(東栗原)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・5月(六町駅前) ・6月(たんぼぼ保育所六町園・南保木間)	・6月(平野)
		後期	・10月(南保木間)	
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(平野) ・8月(栗島) ・(青井)	・7月(東栗原・平野) ・8月(栗島)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式((六町駅前) ・運動会(たんぼぼ保育所六町園) ・音楽会(たんぼぼ保育所六町園) 【職員参加】 ・入学式(たんぼぼ保育所六町園・栗・東栗原)	【園長参加】 ・入学式(東栗原・栗島) ・運動会(クレーナーサリー足立さくら園) ・まつり(クレーナーサリー足立さくら園) ・卒業式(東栗原) 【職員参加】 ・入学式(栗島) ・運動会(東栗原)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・入園式(栗島) ・卒園式(東栗原 * 副校長参加)	【校長参加】 ・たのしいコンサート(栗島 * 副校長参加) ・卒園式(東栗原)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・1月(たんぼぼ保育所六町園・栗島) ※交流学年 1年生	・9月(東栗原・クレーナーサリー足立さくら園) ※交流学年 5年生	
	小学校での 体験授業	・1月(たんぼぼ保育所六町園)	・11月(クレーナーサリー足立さくら園) ・12月 生活体験(東栗原)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・音楽会(あおい)	・学習発表会 (東栗原・クレーナーサリー足立さくら園)	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

ア 1年生の児童が3グループに分かれ、園児に様々な体験活動をレクチャーした。1組グループは読み聞かせ、2組グループは昔遊び、3組グループはポッチャ、と1年生が生活科や体育で学習してきたことをもとに構成した。当日は、普段なかなか見ることができない1年生が教える側に立つという場面を見ることができた。また、園児たちも興味深そうな表情で体験活動を行っていた。本校には足立つくし幼稚園（以下、つくし幼稚園）の卒園児が多いため、園児たちも安心して体験に取り組めた様子だった。

【1月21日（月） 平野小学校・足立つくし幼稚園】

イ 平野保育園との活動では、入学後の学校生活体験に焦点をあて、活動を行った。当日は、各教室に分かれ、ランドセル体験や教科書、ノート、筆箱の使い方や、道具箱の収納の仕方などを1年生が見本となって手本を示した。また、4校時終了後は1年生と共に体験給食も行った。園児もお盆を持って配膳の列に並び、食器を落とさないよう上手に受け取るなど、貴重な経験となった。1年生としても、園児との交流を通して、自分たちの成長を振り返るとても良い経験となった。

【2月5日（火） 平野小学校・平野保育園】

### (2) 職員の交流

ア 前期に平野保育園の保育者に平野小へ来てもらい、1年生の実態観察を始め、12月には小学校の教員がそれぞれ1日ずつ、つくし幼稚園・平野保育園に分かれ、就学前の園児の様子を観察しに行った。各園・学校が前年度より共通教材（話の聞き方・座り方）を活用しているため、どの園児もよい姿勢で話を聞き、座ることができていた。

しかし、小学校では1時間の授業が「45分」サイクルなので、良い姿勢を長く保持する点や、話を最後まで静かに聞くという点においては今後も改善の余地がみられる。また、小学校入学後は園児を取り巻く環境が大きく変化するので、どの児童も安心して小学校生活がスムーズに送れるよう、共通教材も引き続き活用していくことが重要であるという認識を共有した。更に、今年度の本地区の幼保小連携で行った取り組みを区内へと周知することで、より一層連携による教育的効果が期待できるという認識で一致した。



【つくし幼稚園とのポッチャ交流】



【つくし幼稚園との読み聞かせ交流】



【平野保育園児によるランドセル体験】



【平野保育園との給食交流】

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ア 共通教材の活用状況、姿勢の保持
  - ・ 鉛筆の持ち方について、幼児期から三角鉛筆や箸を活用し、正しく持つことの必要性を保護者会等で保護者に伝えていく大切さが分かった。
  - ・ 共通教材（座り方のポスターなど）があることで、指導がスムーズにでき、児童同士でも姿勢を意識して話を聞くことができる様子が見られた。
- イ 体幹を鍛える運動
  - ・ 遊び、鬼ごっこ、手押し車、雑巾がけ、リトミック（腹筋を使う運動など）を通して、体幹を鍛えることができた。
  - ・ 保育園でのマット遊び、幼稚園での雑巾がけを経験したことが、小学校での体育での押し相撲、動物のポーズの動きができることにつながった。

#### (2) 課題

- ア 体験給食の日程調整（自然教室の日には、管理職が参加できない。）
- イ 家庭でのタブレットやスマホの使用で、首を日常的に曲げている児童がいる。
- ウ 大人が全てしてあげるのではなく、見守ることも大切である。
- エ 「どうする？」という問いかけで、児童に自分で考える力を育てる。
- オ 箸の持ち方、雑巾の絞り方が苦手である。ラップの芯に巻き付けることなどの手先の練習も必要である。

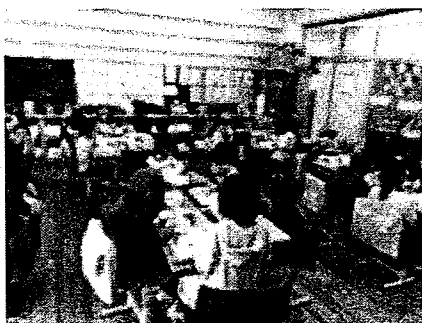
### 4 今後の取り組み予定

#### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア 夏季休業日を利用して全教員の幼稚園・保育園参観を引き続き実施する。
- イ 幼稚園・保育園との職員交流、児童の交流を引き続き実施する。
- ウ 日常の活動で運動量を増やしたり体幹を鍛えたりする取り組みを交流し、共通実践する。
- エ ブロックでの取り組み内容をそれぞれの施設の全職員が共有し、活動の意味を理解する。

#### (2) 課題解決に向けて

- ア 体験給食をある程度の人数まで実施できるよう、食器の数を増やしたり民間委託業者に対して食数の許容数を増やしたりできるよう、区教育委員会が委託するときに、話を詰めてほしい。
- イ 児童が自分で考え、自分でできることはできるようにするために、大人が発問や指示を工夫して、児童に満足感をもたせる経験を重ねていく。
- ウ 鉛筆や箸の持ち方、雑巾の絞り方の指導で効果のある方法を一層探り、共通実践することで指導法を広めていく。
- エ タブレットやスマホの安全な使用方法について、家庭とも協力し、安全、適切に児童が使用できるようにしていく。



平野保育園との給食交流



平野保育園での雑巾かけ



平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第9ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校 【桜花小学校】

担当園 【花畑桑袋保育園】

9ブロック		花畑第一小学校	花畑小学校	花畑西小学校	
連携園		東花畑保育園	六町あづま保育園	杉の子幼稚園 レイモンド花畑保育園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月14日(月) 15:30 ~ 【会 場】 足立区立桜花小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】 1月29日(火) 14:00 ~ 【会 場】 足立区立桜花小学校			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月	・6月	・1月(杉の子)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・12月	・8月 ・12月	・7月(レイモンド花畑) ・2月(杉の子)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(東花畑・西保木間)		・5月(たんぼぼ保育所六町園) ・6月(愛隣) ・実施あり(杉の子)
		後期	・10月(南保木間)		・10月(杉の子・北保木間)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月 ・8月 ・1月(花畑桑袋)	・1月(花畑桑袋)	・1月(杉の子・花畑桑袋) ・2月(杉の子)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・卒業式 【職員参加】 ・運動会 (東花畑・杉の子・おおやた)	【主任参加】 ・入学式 ・卒業式	【園長参加】 ・入学式・卒業式(杉の子) 【職員参加】 ・運動会(杉の子)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会 ・発表会 ・就学祝式	【校長参加】 ・運動会 * 副園長参加	【校長参加】 ・卒園式(杉の子)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・12月 ※交流学年 5年生	・10月 ※交流学年 1年生	・12月(杉の子・レイモンド花畑) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・12月 学校探検とゲーム・体験授業	・2月 生活科	・12月 文字と数のプリント (杉の子)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・学芸会	・音楽会	・学芸会(杉の子)	

幼保小連携活動報告 第9ブロック

9ブロック		桜花小学校	花保小学校	
連携園		花畑桑袋保育園 花畑八千代幼稚園	六町保育園 南保木間保育園 愛隣保育園 東保木間保育園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(花畑桑袋)	・5月(南保木間)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・12月(花畑桑袋)	・12月(南保木間)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(花畑桑袋・花畑八千代)	・6月(南保木間・愛隣・東保木間・東花畑たんぼぼ保育所六町園)
		後期	・10月((花畑桑袋・花畑八千代)	・10月(南保木間・東保木間)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(花畑桑袋) ・1月(花畑桑袋)	・1月(花畑桑袋)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(花畑桑袋) ・運動会(花畑桑袋・六木保*主任参加) ・クリーン作戦(花畑桑袋) 【職員参加】 ・入学式(花畑桑袋) ・桜花基礎学習教室(花畑桑袋) ・運動会(杉の子)	【園長参加】 ・入学式(南保木間・東保木間) ・運動会(南保木間・東保木間) ・卒業式(南保木間・東保木間)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会(花畑桑袋・花畑八千代) ・発表会(花畑桑袋) ・保護者会(花畑桑袋) ・卒園式(花畑桑袋・杉の子) 【職員参加】 ・初任者研修(花畑桑袋) ・運動会(おおやた)	【校長参加】 ・運動会(南保木間・東保木間*副校長参加) ・発表会(南保木間・東保木間*副校長参加) ・保護者会(南保木間) ・卒園式(南保木間・東保木間) 【職員参加】 ・運動会(南保木間・東保木間) ・発表会(東保木間)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月(花畑桑袋) ※交流学年 1年生	・9月(六町・南保木間・東保木間・六町駅前) ・1月(愛隣) ※交流学年 5年生	
	小学校での 体験授業	・11月 国語(花畑桑袋)	・9月 図書館利用(南保木間)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・音楽会(花畑桑袋) ・ランドセル交流(花畑桑袋) ・図書室交流(花畑桑袋) ・学校公開(花畑八千代)	・運動会(六町・愛隣) ・プール活動見学(六町) ・展覧会(六町・南保木間・愛隣・東保木間) ・持久走大会(南保木間) ・花ほっこランド (六町・南保木間・愛隣・東保木間) ・お買い物ごっこ(六町駅前)	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

#### ア ランドセル交流、授業体験、体験給食

(ア) 日時 11月 1日 (木) 10:00~13:00

(イ) 場所 桜花小学校

(ウ) 対象 1年生59名・花畑桑袋保育園年長児13名

#### (エ) 活動内容

- ・ 園児を2グループに分け、グループごとに1年教室に移動し学習を行う。
- ・ 1年担任が全体指導を行った後、小学生が園児に鉛筆の持ち方や文字覚える。
- ・ 1年担任が机間指導し丸付けをする。
- ・ 1年生が、ランドセルの中身を説明し、使い方を練習する。
- ・ 1年生が担当する園児と手をつなぎ、学校施設の案内と説明を行う。
- ・ 体育館に戻り、集団遊び。
- ・ 1年生の各学級に分かれて、園児の体験給食を実施。

#### イ 図書館交流

(ア) 日時 2月14日 (木) 10:00~11:30

(イ) 場所 桜花小学校

(ウ) 対象 1年生59名・花畑桑袋保育園年長児13名

#### (エ) 活動内容

- ・ 小学校教員が、図書室の使い方や本日の学習について説明を行う。
- ・ 園児を2グループに分け、1年生が案内して図書室内の見学を行う。
- ・ 1年生と園児と一緒に読書を行う。
- ・ 小学校教員による読み語りと読書指導を行う。



### (2) 職員の交流

ア 校長・園長の定期的な協議と懇談。研修・交流計画の作成。

#### イ 職員の交流研修

- ・ 1年生・5歳児担任による一日研修。
- ・ 小学校の全教員による園の教育活動の見学と協議会の実施。
- ・ 小学校教員の保育、運動会、発表会への参観。
- ・ 小学校教員による保育園での授業・協議会の実施。
- ・ 保育者による小学校の土曜事業への参加。
- ・ 小学校基礎学習教室(年間7回)での小学生への指導。
- ・ 小学校の地域行事への保育者の参加。

ウ 保育園での公開保育・保育参観・協議会。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ア 園長と校長が密接に連携し、細かく計画を立案することにより、職員の交流研修をより活性化することができた。
- イ 各園、小学校とも、それぞれに接続期の指導のあり方を実践的に考え、指導に生かすことができた。
- ウ 小学校と幼稚園・保育園が相互の実践に学び、それぞれの指導に役立てることができた。
  - ・ 園の指導の中で、遊びの中で学びへの興味・関心を高める取組が数多く見られたので小学校での指導に活用した。
  - ・ 小学校での国語指導をもとに、保育園でも園児の言葉への興味・関心を高める遊びへの取り組みにつなげた。
- エ 連携校同士で児童や園児の実態に合った共通の研究課題を設定することにより、指導方法や内容について共有化を図ることができた。

#### (2) 課題

- ア 職員の交流について
  - ・ 行事等の参観は盛んに行われるようになったが、日頃の指導についての情報交換の話し合いの時間が定期的にとれるようになるとよい。
- イ 公開保育について
  - ・ 園児の活動や指導の様子を直接参観し学べる貴重な機会だが、今後は他の幼稚園や保育園でも広く実施できるようになるとよい。
  - ・ 小学校の授業研究会などにも、幼稚園や保育園の積極的に参加できる体制づくりが必要である。
- ウ ブロック会議・協議会について
  - ・ 各校や園の情報を交換できる貴重な機会だが、時間の関係で話し合いが十分深まらないこともあった。
- エ 共通の研究課題について
  - ・ 連携校ごとに「鉛筆の持ち方」「姿勢」「あいさつの仕方」等について共通の課題を設定し指導に取り組んできたが、今後もさらに連携して研究を進めていく必要がある。

### 4 今後の取り組み予定

#### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア 夏休みを含めた職員相互の交流研修のあり方を、「接続期の学びの姿勢の確立」等にポイントを絞ってさらに実践的なものにしていく必要がある。

#### (2) 課題解決に向けて

- ア 小学校教員が園に出向き、保育者とともに文字や数字の基本的な事項の指導を行う機会を設け、学びの継続性を強化する。
- イ 保育者が小学校に来校し、1年担任教員とともにTTとして児童の学習指導に参加し、小学生の指導について理解するとともに園での指導に役立てる。
- ウ それぞれの保育者・教員が、園や小学校の公開保育・授業、行事等に、より積極的に参加し、お互いの理解を深めるとともに指導の共通化を図る。

平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第10ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【澗江小学校】

担当園【西保木間保育園】

10ブロック		竹の塚小学校	中島根小学校	澗江小学校	
連携園		ふちえ幼稚園 澗江保育園 ちやいれつく竹ノ塚駅前保育園	中島根保育園	竹塚幼稚園 竹の塚北保育園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】5月8日(火) 15:00 ~ 【会 場】足立区立澗江小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】2月5日(火) 15:00 ~ 【会 場】足立区立澗江小学校			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(澗江)	・6月	・5月(竹塚・竹の塚北・水神橋)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月(澗江) ・8月(ちやいれつく竹ノ塚駅前) ・12月(ちやいれつく竹ノ塚駅前)	・1月	・12月(竹塚・竹の塚北)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期		・6月(中島根・平野・愛隣)	
		後期		・2月	・10月(竹の塚北)
	公開保育 (学校から園へ)		・7月	・7月(竹の塚北)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(ふちえ*主任参加・竹の塚*主任参加) ・運動会(ふちえ) ・展覧会(ふちえ) ・謝恩会(竹塚) ・卒業式(ふちえ・主任も参加) 【職員参加】 ・運動会(ふちえ・竹塚) ・展覧会(竹塚)	【園長参加】 ・入学式・卒業式 ・運動会(中島根・島根いちい) 【職員参加】 ・入学式・運動会	【園長参加】 ・入学式(竹の塚北) ・運動会(西保木間) ・展覧会(西保木間) ・卒業式(竹の塚北) 【職員参加】 ・入学式(ふちえ・竹の塚) ・運動会(竹塚)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】入園式(ふちえ) ・運動会(ふちえ) ・発表会(ふちえ)	【校長参加】 ・運動会(中島根*副校長も参加・ふちえ) ・発表会 ・卒園式		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月(澗江・ちやいれつく竹ノ塚駅前) ※交流学年 1年生 ・12月(ふちえ) ※交流学年 5年生	・11月(中島根・島根いちい) ※交流学年 1年生	・1月(竹の塚北) ※交流学年 1年生 ・2月(竹塚) ※交流学年 5年生	
	小学校での 体験授業	・2月 学校見学(ふちえ)			
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・展覧会 (ちやいれつく竹ノ塚駅前) ・読み聞かせ (澗江・ちやいれつく竹ノ塚駅前)	・学習発表会見学 ・展覧会	・運動会練習見学 (竹塚・竹の塚) ・学芸会 (竹塚・竹の塚・西保木間) ・5年生読み聞かせ(竹の塚)	

幼保小連携活動報告 第10ブロック

10ブロック		渚江第一小学校	西保木間小学校	保木間小学校	
連携園		小倉幼稚園 保木間保育園 北保木間保育園	西保木間保育園 水神橋保育園	ふちえ幼稚園 竹塚幼稚園 竹の塚保育園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(保木間・北保木間)	・5月(西保木間・水神橋)		
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月(保木間) ・8月(保木間) ・12月(保木間・北保木間)	・8月(西保木間・水神橋) ・12月(西保木間)	・12月(竹の塚)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(小倉・保木間・北保木間・平野・南保木間)	・6月((西保木間・水神橋)	・6月(竹の塚・六木保)
		後期	・10月 (保木間・北保木間・南保木間)	・10月(西保木間)	・10月(愛隣)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(保木間・北保木間)	・7月(西保木間)	・6月(西保木間)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式 (小倉・保木間・北保木間) ・運動会(小倉・保木間・北保木間 * 主査参加・中島根) ・展覧会(北保木間*主査参加) ・卒業式 (小倉・保木間・北保木間) 【職員参加】 ・入学式(小倉・保木間) ・運動会(小倉・保木間・北保木間・杉の子・竹塚) ・展覧会(北保木間) ・卒業式(小倉)	【園長参加】 ・入学式(西保木間・水神橋) ・運動会(西保木間・水神橋) ・一年生保護者説明会 (西保木間) ・展覧会(西保木間・水神橋)	【園長参加】 ・入学式(ふちえ・竹の塚) ・運動会(ふちえ・竹の塚) ・卒業式(ふちえ*主任参加) 【職員参加】 ・運動会(ふちえ・竹塚・竹の塚 中島根)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会(保木間・北保木間) ・発表会(北保木間) ・卒園式(保木間・北保木間) 【職員参加】 ・保護者会(保木間)	【校長参加】 ・運動会(西保木間・水神橋) ・園保護者会(西保木間) ・卒園式 (西保木間・水神橋*副校長参加)	【校長参加】 ・入園式(ふちえ) ・運動会(ふちえ)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・12月(小倉) ※交流学年 1年生 ・1月(保木間・北保木間) ※交流学年 2年生	・10月(西保木間)	・10月(竹塚) ※交流学年 5年生 ・11月(竹の塚) ※交流学年 5年生	
	小学校での 体験授業		・10月(西保木間) ・生活科(水神橋)	・2月(竹塚・竹の塚)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・運動会練習見学(保木間) ・展覧会(保木間・北保木間)	・運動会見学(西保木間) ・運動会(水神橋) ・展覧会(西保木間・水神橋)	・運動会練習(竹の塚) ・保木間まつり(竹塚・渚江) ・展覧会(竹の塚) ・秋まつり(竹の塚) ・「Heat to Heat」(渚江)	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

- ア 6月 小学校運動会のリハーサル見学
- イ 11月 小学校学芸会のリハーサル見学
- ウ 1月 保育園児の授業体験・1年生との給食交流
- エ 2月 幼稚園児の学校探検・5年生との給食交流
- オ 2月 図書委員会児童による保育園児への読み聞かせ



給食交流



1年生との交流（昔遊び）

### (2) 職員の交流

- ア 5月 保育者による小学校参観
- イ 7月 小学校教諭による保育園参観
- ウ 12月 小学校1学年担任による幼稚園参観・情報交換
- オ 12月 小学校1学年担任による保育園参観・授業体験・情報交換



図書委員会児童による読み聞かせ



授業体験（えんぴつの練習）

## 3 成果と課題

### (1) 成果

#### ア 子どもの交流

- ・ 1年生との交流では、1年生が保育園児と一緒に昔遊びに親しむという活動を行った。発表形式ではなく、やりたい遊びを聞きながら数名のグループで活動する場を設けたことで、保育園児も抵抗なく遊びに参加することができた。遊びの後に行った入学体験（ランドセルを背負わせてあげる、

## 幼保小連携活動報告 第10ブロック

教科書を見せてあげるなど)も、小学校生活のイメージをもたせるために有効だった、また、1年生にとっても、来年入学してくる子ども達のお世話をするという体験を通して、進級し上級生になるという自覚をもたせることができた。

- ・ 5年生との交流では、当初は体験給食のみという計画だったが、5年生が幼稚園児を案内して学校探検をする活動を取り入れることにより、交流を深めることができた。
- ・ 昨年度より始まった図書委員会による保育園児への絵本の読み聞かせでは、今年度は保育園児に3つのコーナーに分かれてもらい、図書委員会の児童が読み聞かせをして回るというスタイルに変更した。その結果、児童と保育園児の距離も近くなり、早く読み終わったグループは絵本をもう一度よく見せてあげたり、小学校についての話をしたりと、昨年度に比べ交流が深まった。

### イ 職員の交流

- ・ 小学校教諭による幼稚園・保育園の参観を、園児の入学先が決定した12月に設けたことで、入学予定児童についての引継ぎをしっかりと行うことができた。
- ・ お互いの保育、学習の様子を参観したり、小学校教諭が保育園児に授業体験をしたりすることにより、それぞれの指導の工夫を知ることができた。

### (2) 課題

- ア 年度の前半の交流が行事のリハーサル見学にとどまり、学校生活の体験や子ども同士の交流があまり実施できなかった。
- イ 給食交流が1・2月でインフルエンザによる欠席の対応もあり、大変だった。欠席状況を電話で連絡しながら対応した。
- ウ 今年度の対応はなかったが、アレルギーの園児がいた場合の対応の仕方について、幼保小連携ブロック会議で話題になり、検討の必要性を認識した。

## 4 今後の取り組み予定

### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア 今年度行った活動については、次の1年生担任や図書委員会担当に活動内容を伝え、継続していく。
- イ 行事見学以外にも、校庭で遊ぶ、校内を探検するなど、園児が小学校での生活をイメージできるような活動を多く取り入れていくことで、体験活動の充実を図る。

### (2) 課題解決に向けて

- ア アレルギー対応については、命に関わるため、担当園や栄養士との連絡を密に取り、電話や書面で確実に対応する。
- イ 小学校の社会科見学や宿泊行事の予定によっては、年明けに体験給食の予定が組めないことも考えられる。体験を2回に分け、年内に体験給食、入学が近づいてきた年明けに授業体験や交流を行う、という方法も視野に入れておく。



平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第11ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校 【東伊興小学校】

担当園 【伊興保育園】

11ブロック		東伊興小学校	伊興小学校	西伊興小学校	
連携園		本行寺第二伊興幼稚園 伊興すみれ保育園	福寿院幼稚園 伊興保育園	佐藤幼稚園 ういず西新井保育園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月24日(木) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立東伊興小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月 5日(火) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立東伊興小学校			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・6月(伊興すみれ)	・4月(伊興)		
	職員交流研修 (学校から園へ)	・8月、1月(伊興すみれ)	・12月(伊興)	・8月(ういず西新井)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・(本行寺第二伊興・いりや第二)	・6月(福寿院・伊興)	
		後期	・(いりや第二)	・10月(福寿院・伊興)	
	公開保育 (学校から園へ)	・8月(伊興) ・10月(はなぞの) ・11月(清水)	・7月保育参観(伊興) ・8月保育参観(福寿院) ・8月公開保育(伊興)	・10月(はなぞの)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(本行寺第二伊興・伊興すみれ) ・運動会(福寿院*副園長参加) ・幼保小連携講演会(伊興すみれ・伊興・ういず西新井・伊興大境・清水・i-) 【職員参加】 ・入学式(本行寺第二伊興・伊興すみれ・はなぞの・福寿院) ・展覧会(本行寺第二伊興・伊興すみれ) ・運動会(福寿院) ・幼保小連携講演会(伊興すみれ・伊興・ういず西新井・伊興大境・清水・i-)	【園長参加】 ・入学式 (伊興・福寿院*副園長参加) ・運動会 (伊興・福寿院*副園長参加) ・入学説明会 (福寿院*副園長参加) ・卒業式(伊興) 【職員参加】 ・入学式(はなぞの) ・運動会(福寿院・伊興・はなぞの) ・入学説明会(福寿院) ・卒園式(はなぞの)	【園長参加】 ・運動会(福寿院) 【職員参加】 ・入学式(はなぞの・福寿院)	
その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会(本行寺第二伊興・伊興・つばめ) ・卒園式(本行寺第二伊興・つばめ) 【職員参加】 ・運動会(はなぞの・福寿院) ・卒園式(伊興すみれ・はなぞの)	【校長参加】 ・運動会・発表会・保護者会(伊興) ・卒園式(福寿院・伊興)	【校長参加】 ・運動会(はなぞの) ・卒園式(はなぞの)		
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・9月(本行寺第二伊興) ※交流学年 5年生 ・9月(伊興すみれ) ※交流学年 1年生	・11月(伊興) ※交流学年 1年生 ・12月(福寿院) ※交流学年 1年生	・11月 (佐藤・ういず西新井) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・9月交流会(本行寺第二伊興)	・11月(伊興) ・12月(福寿院) ※交流学年 1年生	・11月学芸会練習見学 (ういず西新井)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・展覧会(伊興すみれ)	・学校公開(福寿院) ・持久走大会(福寿院) ・音楽会(伊興)	・学芸会練習見学 (佐藤) ・学芸会見学 (ういず西新井)	

幼保小連携活動報告 第11ブロック

11ブロック		栗原北小学校	西新井第二小学校	
連携園		たんぼぼ保育所竹の塚園 伊興大境保育園 はなぞの幼稚園	清水保育園 i-保育園 西新井保育園 アスク西新井保育園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(伊興大境) ・6月(はなぞの) ・10月(はなぞの*園長参加)	・5月(i-・西新井) ・6月(清水)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・7月(伊興大境) ・3月(はなぞの)	・8月(清水・i-・西新井) ・12月(i-・西新井)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(はなぞの)	・6月(清水)
		後期		・10月(アスク西新井)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(伊興大境) ・10月(はなぞの*園長参加)	・10月(はなぞの)	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式、学芸会、卒業式(はなぞの) ・運動会(はなぞの・福寿院*副園長参加) 【職員参加】 ・入学式(ふちえ・福寿園) ・運動会(はなぞの・福寿院) ・卒業式(ふちえ)	【園長参加】 ・入学式(清水・西新井) ・運動会(西新井) ・卒業式(西新井) 【職員参加】 ・入学式(清水・i-)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会(伊興大境・はなぞの) ・卒園式(伊興大境*副校長参加・はなぞの))	【校長参加】 ・運動会(西新井) ・卒園式(西新井)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・10月(伊興大境・はなぞの) ※交流学年 1年生	・10月(清水・i-) ※交流学年 1年生 ・11月(西新井) ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業		・10月 国語・算数(i-) ・11月(西新井)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)		・学芸会((i-・西新井)	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子供の交流

- ア 子どもまつり
  - ・ 1年生と5歳児
- イ 体験給食、学習体験
  - ・ 1年生と5歳児、5年生と5歳児
- ウ 小学校の行事への参加
  - ・ 学芸会、音楽会、持久走応援等
- エ 1年生と5歳児、学校体験を実施。
  - ・ 授業体験では、実際の1年生の教室で席に着き、1年生と一緒に学習する体験を行った。ランドセルを背負わせてもらったり、本を読んでもらったりすることで、小学校へ入学することへの期待感が高まった。
  - ・ 体験給食では、自分で配膳した小学校での給食を味わうことで、学校給食に対する不安な気持ちが、楽しみな気持ちに変わり、就学に対して自信をもつことができた。



### (2) 職員の交流

- ア 小学校1年担任→保育園、幼稚園に研修へ行く。
- イ 幼稚園、保育園→小学校に研修へ行く。
- ウ 幼稚園、保育園の公開保育に参加。  
(管理職、1年担任、園長、5歳児担任)
- エ 交流会(1年生、5年生の担任との交流)
- オ 学校公開、運動会(小学校・幼稚園・保育園) 発表会(幼稚園・保育園)等に、管理職、園長、職員が参加し合う。
- カ 幼保小連携教育研修会(講演会)の実施
  - ・ 5歳児保育の参観を通して、小学校教員は、来年度入学する5歳児の実態を知ることができた。参観後の協議・意見交換をすることで、保育園・幼稚園での就学に対する取り組みを詳しく聞くことができ、理解が深まった。また、小学校入学までに身に付けてほしい力を保育者に伝える良い機会となった。
  - ・ 1年生の学校生活の様子を参観することを通して、保育者は、卒園してからの成長や変化を知ることができた。
  - ・ 幼保小連携教育研修会では、講師に大田区立松仙小学校より松村英治氏を迎えて、「幼保小連携教育の実践について～幼児教育から小学校教育へのつながりを考える～」というテーマで講演会を行った。「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」を視点に子どもを見取る演習や、スタートカリキュラムの基本的な考え方について具体的な話を聞くなどして、連携と交流を価値あるものにするためのポイントを学んだ。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ア 共通のテーマを設定（「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」からグループごとにテーマを選択）したことで、年間を通して、同じ視点で交流、協議を深めることができた。
- イ 園児が実際に小学校を訪問し学校生活を体験することで、就学に対する期待が高まった。
- ウ 園児の世話をすることで、交流した児童の意欲が高まった。
- エ 学校側の園児保護者に対する要望（身に付けさせたい力）を知ることができた。
- オ 園と小学校が身近に感じられるようになった。
- カ 就学に向けた保育のヒントを知ることができた。

#### (2) 課題

- ア 体験給食における、アレルギー等の安全面に十分な配慮が必要である。
- イ 交流の時期を調整することが難しい。
- ウ 交流の内容について、事前の打ち合わせを密にする必要がある。
- エ 職員の交流をさらに活発に行っていきたい。
- オ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、更に深く学びたい。
- カ 交流後の振り返りを共有する必要がある。

### 4 今後の取り組み予定

#### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア 交流会や体験給食を引き続き行っていく。
- イ 職員の交流を引き続き行っていく。
- ウ 次年度も、共通のテーマを設定し交流を深めていきたい。
- エ 保育園同士の連携も深めていきたい。
- オ 学校のことをさらに知ることができる体験があると良い。（例えば、校庭を走って学校の校庭の広さを体感する等）
- カ 身に付けさせたい力（言葉づかい等）は、日頃の指導はもちろんだが、交流を通して気付かせていきたい。

#### (2) 課題解決に向けて

- ア 校庭や図書室等、園児が学校施設を利用する機会を増やす。
- イ 早めに情報交換ができるよう、入学後すぐに職員交流があると良い。
- ウ 職員同士の交流をもち、互いの取り組みを知ることができるようにする。
- オ 次年度の体験給食は、ブロック会議等で事前に日程を把握することで、アレルギー等、配慮が必要な園児に早期対応していきたい。



平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第12ブロック

※連携している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校 【鹿浜五色桜小学校】

担当園 【第三上沼田保育園】

12ブロック		鹿浜五色桜小学校	鹿浜第一小学校	北鹿浜小学校	
連携園		第三上沼田保育園 江北白百合幼稚園	谷在家保育園 足立このみ保育園	太陽保育園 鹿浜こども園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】 5月10日(木) 15:00 ~ 【会 場】 足立区立鹿浜五色桜小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】 2月12日(火) 14:00 ~ 【会 場】 足立区立鹿浜五色桜小学校			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月(第三上沼田)	・5月(谷在家)	・5月(太陽・鹿浜)	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・2月(第三上沼田)	・8月12月(足立このみ) ・1月(谷在家)	・7月(鹿浜)	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月(第三上沼田)	・(加賀)	・6月(太陽・鹿浜)
		後期	・10月(第三上沼田)	・10月(谷在家)	・10月(鹿浜)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(第三上沼田)	・7月(谷在家)		
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・運動会 (第三上沼田*副園長参加) ・展覧会、入学説明会、卒業式、 入学式(第三上沼田) 【職員参加】 ・展覧会(第三上沼田)	【園長参加】 ・運動会(谷在家・加賀) ・卒業式(谷在家) 【職員参加】 ・入学式(谷在家) ・運動会(加賀)	【園長参加】 ・入学式(太陽・鹿浜) ・運動会(太陽・鹿浜) ・学芸会(太陽・鹿浜) 【職員参加】 ・入学式(鹿浜) ・運動会(太陽・鹿浜) ・1月公開講座、学校公開参加 イングリッシュシカハマの手伝い (太陽)	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・運動会、発表会、5歳児保護者 会(第三上沼田)	【校長参加】 ・運動会*副校長参加、卒園式 (谷在家) ・5歳児保護者会(谷在家・足立こ のみ)	【校長参加】 ・入園式(鹿浜) ・運動会(太陽*副校長参加・鹿 浜) ・発表会(太陽*副校長参加) ・12月保護者会(鹿浜) ・卒園式(鹿浜) 【職員参加】 ・運動会(鹿浜)	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・10・11月(江北白百合) ※交流学年 2年生 ・2月(第三上沼田) ※交流学年 1年生	・2月(谷在家) ※交流学年6学年	・10月(鹿浜こども園) ※交流学年 1年生 ・11月(太陽) ※交流学年5年生	
	小学校での 体験授業	・10月交流会(江北白百合) ・2月生活科授業体験・学校探検 (第三上沼田)	・2月生活科(谷在家) ※交流学年6年生	・6月公開授業(鹿浜こども園) ・10月生活科授業(鹿浜こども園) ・3月(太陽・鹿浜こども園)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・9月運動会練習見学 (第三上沼田)	・展覧会(谷在家)	・10月北鹿まつり (太陽・鹿浜) ・学芸会(太陽・鹿浜)	

幼保小連携活動報告 第12ブロック

12ブロック		血沼小学校	鹿浜西小学校	
連携園		加賀保育園	鹿浜愛育幼稚園	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月	・6月、11月	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・1月	・10月、11月	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・5月、6月、7月	・6月
		後期	・10月、12月、1月	
	公開保育 (学校から園へ)	・7月	・12月	
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式、運動会、音読発表会、音楽会、血沼っこまつり、ちびっこまつり 【職員参加】 ・運動会、音楽会、血沼っこまつり、ちびっこまつり	【園長参加】 ・入学式、運動会、卒業式	
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・4月5歳保護者会(校長講話)、ミニ授業、発表会 ・運動会、卒園式*副校長参加 【職員参加】 ・5月コミュニケーション教室担当保育参観 ・1月5歳保護者会・養護教諭講話	・入園式、卒園式*副校長参加	
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月 ※交流学年 1年生		
	小学校での 体験授業	・11月、2月 生活科授業	・9月 体育 ・2月 生活科	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・11月音楽会 地域合同清掃 ・12月血沼っこまつり ・2月ちびっこまつり		

12ブロック		新田小学校							
連携園		新田わかば 保育園	新田 保育園	新田さくら 保育園	ココロット	新田三丁目 なかよし 保育園	新田 おひさま 保育園	保育園 ケイ・ ココロット	
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・5月	・11月	・11月	・11月	・11月	・11月	・11月	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・12月	・12月	・7月 ・8月 ・1月	・8月 ・12月	・7月 ・8月 ・12月	・7月 ・8月 ・12月	・8月 ・12月	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・6月	・6月	・6月	・6月	・6月	・6月	・6月
		後期	・10月				・10月	・10月	
	公開保育 (学校から園へ)	・7月 ・8月							
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・座談会 ・音楽会 ・卒業式 【職員参加】 ・座談会	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・音楽会 ・卒業式 【職員参加】 ・運動会 ・音楽会 ・座談会	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・座談会 【職員参加】 ・座談会	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・座談会 【職員参加】 ・座談会	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・座談会 ・卒業式 【職員参加】 ・運動会 ・座談会	【園長参加】 ・入学式 ・座談会 【職員参加】 ・運動会 ・座談会	【園長参加】 ・入学式 ・運動会 ・座談会 【職員参加】 ・座談会	
その他 (学校から園へ)	【副校長 参加】 ・運動会 【主幹教諭 参加】 ・卒園式	【副校長 参加】 ・運動会 ・周年行事 【主幹教諭 参加】 ・卒園式	【副校長 参加】 ・運動会 【主幹教諭 参加】 ・卒園式	【副校長 参加】 ・運動会	【副校長 参加】 ・運動会 【主幹教諭 参加】 ・卒園式	【副校長 参加】 ・運動会 ・卒園式	【副校長 参加】 ・運動会		
		7月 校長講演会 (7園合同 校長・副校長)							
児童・園児交流	小学校での 体験給食	・11月 ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	・10月 ※交流学年 1年生	
	小学校での 体験授業	・10月 音読 音楽	・10月 国語 生活科	・10月	・10月	・10月	・10月	・10月	
	行事参観 (園から学校へ)	・7月 図書室利用 音楽会		・7月 図書室利用	・7月・8月 図書室利用	・7月・8月 図書室利用	・8月 図書室利用	・7月・8月 図書室利用	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

- ア 学校探検
- イ 交流授業
- ウ 給食交流会
- エ 運動会や音楽会などの行事参観
- オ 小学校のおまつりへの参加
- カ 学校図書館利用
- キ 地域清掃への参加

### (2) 職員の交流

- ア 交流研修・講話
- イ 学校公開参観・行事参観
- ウ 幼保小連携会議（毎月）



### 【ようこそ新1年生の会】

体育館に全員揃った中で、歓迎の呼びかけ・小学校生活や行事の紹介をしました。

その後、各教室に分かれて学習体験やランドセル体験などをしてもらいました。最後は、学校自慢の美味しい給食も味わってもらいました。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ア 低学年の児童が、年上として自覚をもてるようになった。
- イ 園児は就学への期待がもてた。1～2月は就学直前なので、自分のこととして考えていた。
- ウ 園児が給食への期待・安心を感じられた。

### (2) 課題

- ア 園児・小学生の人数の差が大きい。
- イ 個別に配慮が必要な園児がいる場合、グループ分けが難しい。情報共有のあり方について確認が必要である。
- ウ 5年生を中心に、他学年とも交流させたい。
- エ 天候により実施できなかった取り組みがあった。（避難訓練）
- オ 園の元担任が小学校に卒園児の様子を見に行くことは、その後の保育の充実につながると考える。
- カ 聞く姿勢を身に付けさせたい。
- キ 交流について、担任が変わっても共有したい。
- ク 交流の意義を考えたい。
- ケ 給食で使う用具（スプーン・フォーク・箸）などの練習が必要である。
- コ 接続カリキュラムの話を取り上げたい。



#### 4 今後の取り組み予定

##### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア 活動の意義を大切にしたい、スケジュールリングをしていく。
- イ 5年生との交流を充実させていく。
- ウ 小学生が保育園に来るような活動も検討していく。
- エ 活動後の振り返り、感想を相手に伝え、相互発信をしていく。
- オ ねらいをしっかりと押さえたうえで、子どもに活動を任せるようにする。

##### (2) 課題解決に向けて

- ア 活動後に、保育園から感想カードを小学校に送る。
- イ 就学時検診の前後に5年生と交流する。
- ウ 図書委員などを活用して他学年と交流する。
- エ 低学年・3年生とも交流することで、人数の差を解消する。
- オ プール前に学校公開に参加し、交流をスタートさせる。
- カ 小学校教諭が保育を参観し、情報交換する。



#### 【学校探検・給食交流】

1年生が学校の中を案内しました。図書室で読み聞かせをしたり、学習用具の紹介をしたりしました。給食交流では、園児がおぼんを持って給食をもらう体験をしました。

平成30年度 幼保小連携活動内容

1 第13ブロック

※交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【舎人小学校】

担当園【いりや第二保育園】

13ブロック	舎人第一小学校	舎人小学校	古千谷小学校	足立入谷小学校	
連携園	とねり伊藤幼稚園 いりや第二保育園	アスクとねり保育園 聖保育園 足立みどり幼稚園	足立つばめ幼稚園 舎人幼稚園	いりや第一保育園	
会議	第1回ブロック会議	【日 時】5月11日(金) 13:40 ~ 【会 場】足立区立舎人小学校			
	第2回ブロック会議	【日 時】2月 7日(木) 13:45 ~ 【会 場】足立区立いりや第二保育園			
職員交流	職員交流研修 (園から学校へ)	・4月(いりや第二)		・5月	
	職員交流研修 (学校から園へ)	・8月・2月(いりや第二)	・12月(聖)	・7月(いりや第二) ・2月(足立つばめ) ・8月・12月	
	学校公開 (園から学校へ)	前期	・5月(いりや第一) ・6月(いりや第二)	・5月(いりや第一・いりや第二) ・6月(聖)	・5月(いりや第一・いりや第二)
		後期	・10月(いりや第二)	・10月(聖・いりや第二)	・(いりや第二)
	公開保育 (学校から園へ)	・7月(いりや第二)	・7月(いりや第一・いりや第二) ・8月(聖・いりや第一)	・7月(いりや第一・いりや第二) ・8月(いりや第一)	・7月(いりや第一・いりや第二) ・8月(いりや第一)
	その他 (園から学校へ)	【園長参加】 ・入学式(とねり伊藤・いりや第二) ・運動会(とねり伊藤・いりや第二・いりや第一) ・フェスタ(いりや第一) ・展覧会(いりや第二) ・卒業式(とねり伊藤・いりや第二) 【職員参加】 ・入学式(いりや第一・足立みどり) ・運動会(とねり伊藤・いりや第二) ・卒業式(足立みどり) ・展覧会(いりや第二)	【園長参加】 ・入学式(足立みどり・いりや第二*主査参加) ・卒業式(足立みどり) ・運動会(加賀・いりや第一・いりや第二) 【職員参加】 ・入学式(聖) ・運動会(足立みどり・加賀・いりや第二) ・卒業式(聖)	【園長参加】 ・運動会(加賀・いりや第一・いりや第二) 【職員参加】 ・入学式(足立つばめ・足立みどり・いりや第二) ・運動会(足立つばめ・加賀・いりや第二) ・卒業式(足立みどり)	【園長参加】 ・入学式(いりや第一・いりや第二*副校長参加) ・運動会(いりや第一・いりや第二) ・パザー(いりや第一) ・卒業式(いりや第一・いりや第二*副園長参加) 【職員参加】 ・入学式(足立みどり) ・運動会(いりや第二) ・卒業式(足立みどり)
	その他 (学校から園へ)	【校長参加】 ・入園式(とねり伊藤) ・運動会(とねり伊藤*副園長参加・いりや第二) ・発表会(いりや第二*副校長参加) ・卒園式(とねり伊藤・いりや第二*副校長参加)	【校長参加】 ・入園式 ・運動会(足立みどり・いりや第二) ・発表会(いりや第二) ・卒園式(足立みどり・いりや第二)	・運動会(いりや第二) ・卒園式(足立つばめ・いりや第二)	【校長参加】 ・運動会、おたのしみ会*副校長参加、発表会 ・卒園式(いりや第一・いりや第二) 【職員参加】 ・保護者会
児童・園児交流	小学校での体験給食	・11月(とねり伊藤・いりや第二) ※交流学年 1年生	・1月(聖) ※交流学年 1年生	・10月(足立つばめ) ※交流学年1. 2. 6年生 ・(舎人) ※交流学年3. 4年生	
	小学校での体験授業	・11月 生活科授業(いりや第二)	・10月(聖) ・11月・交流会(足立みどり)	・5月 国語(いりや第二) ・10月生活科授業 ・12月 生活科(いりや第二)	
	行事参観・参加 (園から学校へ)	・運動会練習(いりや第二) ・プール体験(いりや第二) ・展覧会(いりや第二・いりや第一) ・いりや太鼓(いりや第一)	・学会(いりや第二)	・12月 チューリップ植え ・展覧会(いりや第一・いりや第二)	

## 2 具体的な活動と評価

### (1) 子どもの交流

#### ア 学習交流会（1年生、5年生と幼稚園児）

- 前半は、1年生と幼稚園児の交流会をした。1年生は、学芸会で踊ったダンスを披露したり、メンバー集めゲームや貨物列車と一緒に遊んだりした。小学生が一生懸命踊ったダンスを見て、園児たちも一緒に踊ったり、手拍子をしたりしてくれたので、発表した1年生はとても嬉しそうであった。



- 交流遊びでは、小学生から積極的に幼稚園児や幼稚園教諭に声をかける姿が見られ、楽しく遊ぶことができた。後半は、5年生と幼稚園児の交流会であった。小グループに分かれ、学校を案内した。廊下の歩き方、教室の説明など、園児に分かるように5年生が説明し、交流を深めていた。新2年生、新6年生として、来年の1年生をお世話するのだという意識を更に高めることができた。

#### イ 昔遊び交流会（1年生と保育園児）

- 昔遊びを通して、交流を行った。1年生は、年間を通して、「けん玉」「あやとり」「坊主めくり」「カルタ」を体験し、昔遊びへの関心を高めていた。
- 園児との昔遊び交流会では、どの児童も「よし。教えるぞ。」という強い思いをもって、積極的に園児と関わった。



- 園児たちは、1年生たちの「けん玉」や「あやとり」の技を見て、「あんなふうにできるようになりたい。」「もっと教えて欲しい。」と進んで1年生と関わり、「坊主めくり」や「カルタ」では、1年生が分かりやすくルールを説明して、園児も楽しんで遊べるよう工夫していた。

### (2) 職員の交流

- ア 5歳児保育を見学し、小学校で日直が朝の会でやるように、保育園でも当番が司会をして進める場面が多く見られた。また、園庭に行くと、お花係が、園庭の花や野菜に水をあげて、生長の様子を保育者に伝えに行く姿が見られた。絵を描く活動では、「まるいもの」から連想する「もの」をたくさん絵に描いていた。保育者は、それぞれの園児の発想を大切にしながら、描いた作品を紹介して、「まるいもの」の概念を一つずつ確認して

いた。

- イ 1年生には、入学後一から教えないとならないと思いがちだが、保育園でも小学校と似た体験をたくさんしていることを研修を通して確認することができた。したがって、小学校では、更にレベルアップした指導ができるよう意識していきたい。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ア 交流遊びでは、「メンバー集めで必ず幼稚園児と小学生が入る」「貨物列車の最初は、必ず幼稚園児と小学生でじゃんけんする」といったルールを決めることで、小学生から積極的に声をかけ、幼稚園児との交流を楽しむことができた。
- イ 昔遊び交流会では、「どの昔遊びを教えるのか」それぞれの役割を決めたことで、一人一人の児童が「〇〇を教えるんだ。」という強い思いをもって、園児と関わることができた。
- ウ 昔遊び交流会では、どの児童も積極的に関わることができた。時期的には、園側には、これから昔遊びを進めていく為、ちょうどよいタイミングであり、小学校側には、今まで取り組んできた「昔遊び」を園児たちに披露し、更に教えるということで、学習のまとめとして、とてもよいタイミングとなった。

#### (2) 課題

- ア 昨年は、幼稚園児がまねをして歌を歌う部分を取り入れたため、事前に幼稚園に曲名を伝え、幼稚園で練習をしてもらった。しかし、今年は、ダンスの披露であった為、特にダンスの曲を伝えることはしなかった。結果的には、どの曲も親しみのある曲だったので、みんな歌ったり、体を動かしたりしていたが、事前に曲名を伝えることで、更に一緒に盛り上がることもできたと感じた。
- イ 昔遊び交流会では、本当は給食交流会の予定であったが、インフルエンザによる学級閉鎖が出たため、給食交流会を中止にして、急遽昔遊び交流会に変更した。保育者からは、毎年「小学校での給食交流会を目標に、給食当番の活動を取り入れて、小学校入学へのモチベーションを上げていたため、中止になってとても残念だ。」という声が聞かれた。給食交流会を実施するにあたり、インフルエンザが流行しない時期に、日にちをいくつか設定する必要があると感じた。

### 4 今後の取り組み予定

#### (1) 活動内容の充実に向けて

- ア MIM等の活動を意図的に体験できるようにしていく。
- イ 歯の健康と家庭での読書推進については、保護者への呼びかけを幼保小共に行っていく。
- ウ 職員交流も一層充実させ、深めていく。

#### (2) 課題解決に向けて

- ア 体験給食での食器等の数については、区教委と相談をしながら、交流が積極的にできるよう要望していく。
- イ 施設長の会合の機会をつくっていく。

## 平成30年度 幼保小連携ブロック別一覧

ブロック	小学校	幼稚園・こども園	保育園（認証含）
1	千寿 千寿本町 千寿双葉 千寿常東 千寿桜 千寿第八	元宿 足立 聖和 中条 千住寿	第二日ノ出町 千住あずま 緑町 日ノ出町 千住 せきや Jキッズルビ北千住 ステラ千住 クリアーザ-千住大橋 あい保育園千住大橋 たんぼぼ保育所北千住園 ういず千住大橋駅前 ういず千住曙町 ぼけつとランド千住曙町 北千住もみじの森 まなびの森保育園千住大橋 北千住こども園 北千住どろんこ キッズガーデン足立柳原
2	江北 高野 扇 宮城	足立サレジオ 東京白百合 江北さくら	上沼田 宮城 さつき 江北 三星 にじいろ保育園江北
3	興本 西新井第一 西新井 本木 寺地	足立愛育 足立双葉 興南 西新井 黒田 第一若草	本木 本木東 興本 興野 西新井教会 西新井聖華 いづみ 扇こころ チェリッシュ西新井 高野駅前こども園 キッズガーデン足立扇
4	亀田 栗原 関原 梅島 島根 梅島第一 梅島第二	梅島 こだま 満願寺 橋 専念寺 八千代	梅田 中部ひまわり 足立ひまわり 島根 うめだ「子供の家」 栗原つくし 親隣館 島根いちい 西新井きらきら 西新井きらきら第二 エック梅島 ちぐさ パンパ保育園梅島園 日生梅島保育園ひびき 日生梅島第二保育園ひびき
5	弥生 足立 弘道 弘道第一	弘道 五反野 春光 城北 のぞみ	中央本町 五反野 やよい 高和 西綾瀬りりおっこ 子ひばり 聖華こうどう 足立梅島雲母
6	長門 綾瀬 東加平 東澗江 北三谷 大谷田 東綾瀬	足立白うめ 親愛 チェリー 美松学園 聖フランシスコ	あやせ 東綾瀬 北綾瀬聖華 足立若葉 隅田学園 東 チェリー 東部若葉 聖母のさゆり 東和 東綾瀬きらきら コピブツ綾瀬 にじいろ保育園綾瀬 どんぐり保育園東和 チェリッシュ綾瀬 あやせパ-ナル園 恵・YOU ぼけつとランド綾瀬 ビ-フェア東和親水
7	中川東 辰沼 中川 中川北 六木	おおやた 東京いずみ 黒川 六木	大谷田第一 辰沼 六木 神明町 チェリッシュ北綾瀬 ナ-ザ-スクールいずみ大谷田
8	青井 栗島 平野 加平 東栗原	あおい 足立つくし 栗島	東栗原 平野 中央本町 青井 たんぼぼ保育所六町園 クリアーザ-足立さくら園 明日葉保育園青井園 たんぼぼ保育所第二六町園 六町駅前 野のはな
9	花畑第一 花畑西 花畑 桜花 花保	杉の子 石鍋 花畑八千代	花畑桑袋 東花畑 南保木間 六町あづま 愛隣 東保木間 レイモント花畑 六町
10	竹の塚 中島根 澗江 澗江第一 西保木間 保木間	小倉 竹塚 ふちえ	北保木間 竹の塚北 中島根 西保木間 水神橋 竹の塚 保木間 澗江 ちやいれつく竹ノ塚駅前 保育園ミルクウェイ竹の塚
11	東伊興 伊興 西伊興 栗原北 西新井第二	佐藤 福寿院 はなぞの 本行寺第二伊興	伊興 西新井 清水 伊興すみれ 伊興大境 i- たんぼぼ保育所竹の塚園 ういず西新井 アスク西新井
12	鹿浜五色桜 鹿浜第一 北鹿浜 皿沼 鹿浜西 新田	鹿浜 江北白百合 鹿浜愛育	加賀 第三上沼田 新田わかば 谷在家 新田 足立このみ 太陽 ココロット 新田おひさま 新田さくら 新田三丁目なかよし 保育園ワイルドコロット さくらんぼ保育園新田
13	舎人第一 舎人 古千谷 足立入谷	足立つばめ 足立みどり 舎人 とねり伊藤	いりや第一 いりや第二 聖 アスクとねり



「美しいまち」は「安全なまち」  
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中 徳島県

